

NEWS

SeaHopper'88.1
Zaimokuza Fleet

正月合宿 写真

1988年 第1回 材木座フリートレース

[1月10日]

レース海面：材木座沖
風速：1～5m
運営：橋本・清水

総合 順位	氏名	No	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	杉浦	9821	材木座	7	13.0	①	0.0	13.0
2	三島	5898	材木座	6	11.7	②	3.0	14.7
3	井上	8633	材木座	②	3.0	6	11.7	14.7
4	設楽	1781	材木座	①	0.0	1 2	18.0	18.0
5	武田	9853	材木座	8	14.0	③	5.7	19.7
6	黒田	10248	葉山	③	5.7	1 0	16.0	21.7
7	山本	8990	材木座	5	10.0	7	13.0	23.0
8	山下	9756	材木座	4	8.0	9	15.0	23.0
9	柴田	10423	葉山	1 0	16.0	4	8.0	24.0
1 0	岡崎	3782	逗子	1 1	17.0	5	10.0	27.0
1 1	奥野	10116	葉山	1 2	18.0	8	14.0	32.0
1 2	蓮沼	3690	材木座	9	15.0	1 8	24.0	39.0
1 3	柳橋	10385	葉山	1 5	21.0	1 3	19.0	40.0
1 4	宮腰	9605	逗子	1 4	20.0	1 4	20.0	40.0
1 5	近藤	10048	材木座	1 3	19.0	1 5	21.0	40.0
1 6	山県	1839	材木座	1 6	22.0	1 6	22.0	44.0
1 7	奥山	2800	材木座	DNS	29.0	1 1	17.0	46.0
1 8		9489	葉山	1 8	24.0	2 0	26.0	50.0
1 9		10132	葉山	DNF	29.0	1 7	23.0	52.0
2 0	鈴木	10531	葉山	1 7	23.0	DNF	29.0	52.0
2 1		8145	葉山	DNF	29.0	1 9	25.0	54.0
2 2			葉山	DNF	29.0	DNF	29.0	58.0

[トップ艇所用時間 第1R：62分 第2R：67分]

Race Schedule

2月7日 第2回材木座フリートレース (材木座)

運営委員長：山下 健

2月28日 伊東オープンレース (伊東市松原海岸)

3月13日 第3回材木座フリートレース (材木座)

運営委員長：井上 信勝

[伊東遠征日程]

2月27日 8:00 第1陣 鎌倉発
14:00～16:00 陸トレ (テニス)
宿泊 ルネッサ伊豆高原
☎ 0557-53-2188

2月28日 5:30 第2陣 鎌倉発
9:00～10:00 受付
9:30～10:00 艇長会議
10:30～ 第1Rスタート
16:00 閉会式
※エントリーフィ 3000円

☆中嶋選手・奥山選手 結婚!!

3月に中嶋選手、5月に奥山選手 挙式決定。おめでとうございます

☆武田選手がTVに出るゾ

ヤマハジュニアヨットスクールを特集した番組にコーチとして武田選手が主演登場します。

放映日 1月29日 PM11:30～11:45 12ch [オンandオフ]

モーヤダッ！！ 浜名湖

No.9853 武田 清

1月24日に浜名湖で行なわれた“ウィンターカップ”の恐怖体験記を御報告させていただきます。時は23日の夜、海月荘に三島選手・設楽選手そして私こと武田の3名が“打倒浜名湖”をスローガンに集結した。三島選手は材木座フリートとして最後のレースの為、気迫がビンビン伝わって来ていた。又、設楽選手も前回の東日本での成績不良挽回の為、やはり気迫がある。さて、私と言うと腹が減っては戦くさは出来ぬとばかりに夜食の激メンをすすり消灯となった。早朝4:00起床 「まあ、頑張っ

て死んでこいや！」の橋本キャプテンの言葉を後目にイザ！浜名湖へ…AM8:30浜名湖寸座マリーナ到着。海面を見るとナンダコリャー!!白波が空をブッとんでいる設楽選手と僕は生ツバを飲んだ。と、そこへ三島選手が一言「んー、丁度いい風だなあー」僕は、「このひとはいったいなにを考えてるんだ!?’とこころの中で思った

なんとか艀装を終えレース海面へ向かったが、材木座沖では経験したことのない強風の為(15mからブローで20m)強風セイリングの基本が通用しなかったのです。2回程、船底をチェック(単に沈をしただけ)しスタートラインに来ると周りには10艇位がやはり船底のチェックをしていました。スタート7分前こうなったら上有利も下もへったくれも無いと思い、本部船からポートのクォーターで風下へ船を走らせたのが地獄への片道切符だったのです。ラインから50m位風下で得意のアンヒール沈

「まあ、スタートまで5分あるからだいじょうぶ」と思っていると頭の横でセンターボードがプカプカ!!

「ヒェ〜!!」必死に潜って入れようとするが凍る程冷たい水中で思うように体が動かずなかなか入らない。やっとのことでセンターが入った瞬間、はるか彼方の本部船から祝福の汽笛が鳴った。いや、違ったスタートのホーンだった!一瞬、頭の中が白くなった。そのまま強い風と高い波にもまれ30分後に完沈のままレスキュー艇にハーバーまで引かれてくると、どこかで見たセールNo.が早々と解装しているではないか1781の設楽選手だった。聞くとところによると、艀装に手間どい出艇した時にスタートのホーンが鳴ったとの事。すると残る頼みのつなは三島選手しかいない!でも、あの人ならだいじょうぶだろうと思いつつ海面を見ると三島選手が帰って来たこの分だとシングルは堅いなと思いつつ出迎えると強風の為、レース中止と判断して戻ってきたとの事だった。結局コース短縮で下マーク回り込みでフィニッシュであったため、DNFでした。ナント!3選手全滅とあいなった。表彰パーティーでの結果はエントリー43艇フィニッシュ13艇というサバイバルレースで幕を閉じたのでありました。次回はガンバルゾー!! 追伸 浜名湖Fの一人が、沈をした時にセルフベイラーでドライスーツを破り寒さに震えながら岸に流れついたあと、山深い森の中を探検し公衆電話から救助を求めてきたもの凄い人がいました。

第2回材木座フリートレース

レース海面：材木座沖

風向速：第1R:75.3~5m

第2R:85.5~8m

[2月7日] 運営：武田・梶原・黒木

総合 順位	氏名	No.	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	橋本	6375	材木座	②	3.0	②	3.0	6.0
2	山下	9756	材木座	4	8.0	①	0.0	8.0
3	設楽	1781	材木座	①	0.0	4	8.0	8.0
4	山本	8990	材木座	③	5.7	③	5.7	11.4
5	瀬戸		YAMAHA	5	10.0	6	11.7	21.7
6	山県	1839	材木座	1 2	18.0	5	10.0	28.0
7	柳橋	10385	葉山	9	15.0	8	14.0	29.0
8	井上	8633	材木座	8	14.0	9	15.0	29.0
9	柴田	10423	葉山	7	13.0	1 3	19.0	32.0
1 0	井上	3721	材木座	6	11.7	1 6	22.0	33.7
1 1	近藤	10048	材木座	1 5	21.0	7	13.0	34.0
1 2	宮腰	9605	逗子	1 0	16.0	1 2	18.0	34.0
1 3	蓮沼	3690	材木座	1 3	19.0	1 0	16.0	35.0
1 4	黒田	10248	葉山	1 1	17.0	1 5	21.0	38.0
1 5		5437	逗子	1 8	24.0	1 1	17.0	41.0
1 6	奥野	10116	葉山	1 7	23.0	1 4	20.0	43.0
1 7	村岡	10397	逗子	1 4	20.0	1 9	25.0	45.0
1 8	池田	5545	材木座	1 6	22.0	1 8	24.0	46.0
1 9	落合	9489	葉山	1 9	25.0	1 7	23.0	48.0
2 0	奥山	2800	材木座	RET	27.0	DNS	27.0	54.0

[トップ艇所用時間 第1R:58分 第2R:65分]

湘南チャンピオンサーキット
レース日程

第1戦 4月10日 第2戦 5月8日

第3戦 6月5日 第4戦 7月10日

第5戦 8月14日 第6戦 9月11日

第7戦 10月2日 第8戦 11月13日

[総合成績]

8回戦成立 ベスト6戦 7.6回戦成立 ベスト5戦

5.4回戦成立 ベスト4戦 以下シリーズ不成立

Race Schedule

3月13日 第3回材木座フリートレース (材木座)

運営委員長：井上 信勝

4月10日 湘南チャンピオンサーキット第1戦 (葉山)

運営委員長：橋本 重一

フリート用銀行口座変更

フリート費等の振込は下記口座にお願いします。

横浜銀行 座間支店(普通)

口座番号 037992

口座名 池田 正弘

['88年会計担当 池田]

協会主催行事スケジュール

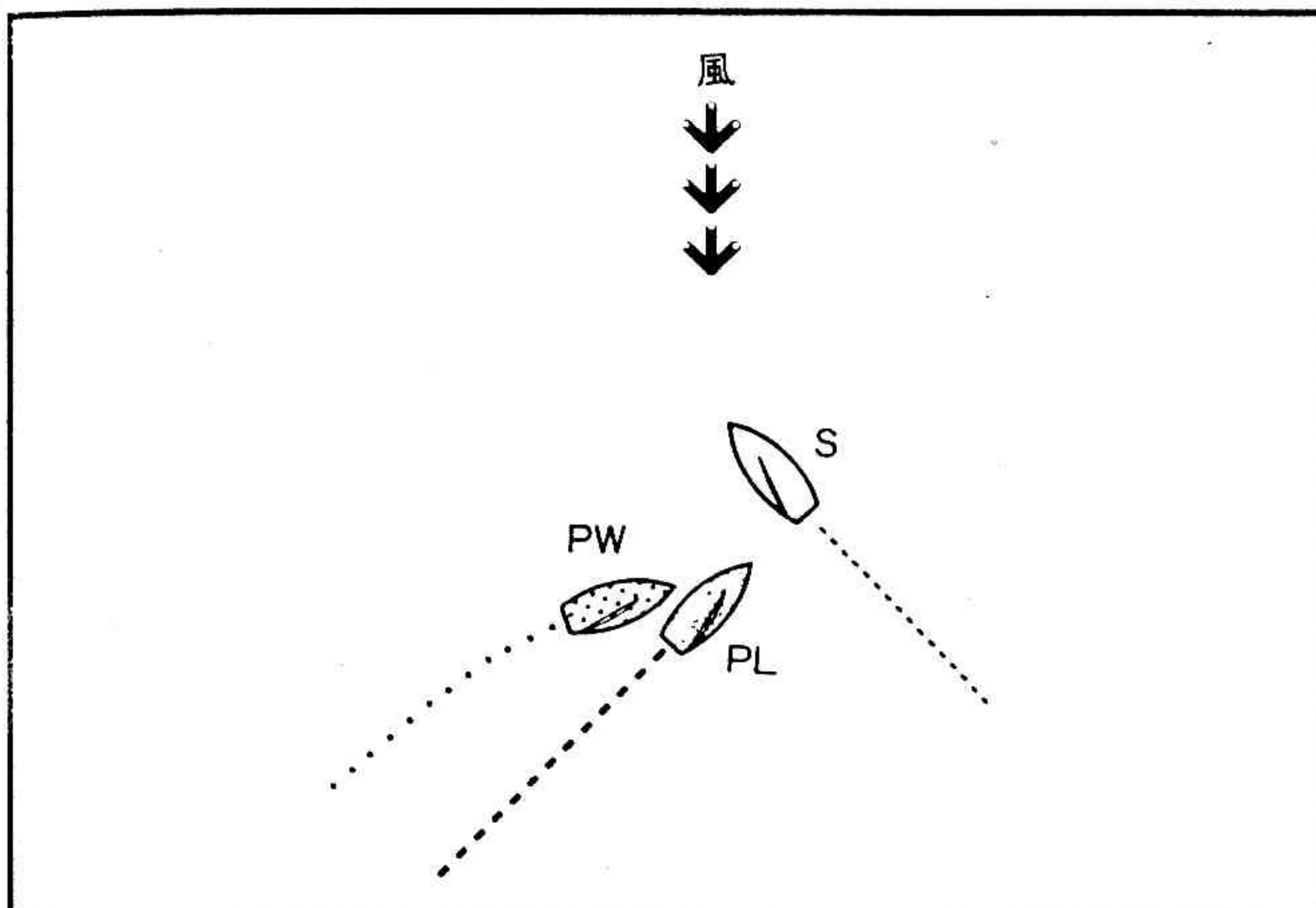
- 6月11～12日 東日本選手権（猪苗代湖）
6月26日 関東選手権湘南大会（江ノ島）
7月30～31日 ディンギージャンボリー（河口湖）
8月21日 関東選手権北関東大会（稲毛or霞ヶ浦）
9月4～7日 京都国体（宮津）
9月22～25日 プレ国体〔ゴールドカップ〕（北海道江差）
10月8～10日 全日本選手権（山口県光市）

国際ヨット競技連盟判例集

規則42.1(a)、オーバーラップしている場合のマークまたは障害物におけるルーム

規則43、クローズホールドのヨットが障害物のところでタックするための声をかけること

権利艇が障害物となる場合は、オーバーラップした2隻のヨットのうち外側の艇はルームを与えなければならない。



ケースの要約

ポートタックのクローズホールドでオーバーラップしているPWとPLが上りのレグでSに近づいた。PLは安全にSの後ろを通過することができた。PWは安全に通り返ることはできずと予測して、Sからおよそ3艇身のところでPLにルームを要求する声をかけた。

PLはかけ声を無視し、そのコースを維持した。

PWがSを避けるためにベアした時、PLの舷とPWの舷がわずかに接触した。PWは規則42.1(a)によって抗議した。

プロテスト委員会は規則42.1(a)は適用されないと考えた。PWは避けるためには風上側の広い水面に向かって容易にタックできたはずであり、そうすべきであったとした。PWは規則43によって失格とされ、上告した。

裁決

上告を支持する。2隻のクローズホールドのポートタックのヨットが、一方または双方にとって障害物となるスターボードタックのヨットに出会った場合、2つの規則が、より近くにいてしかも避けるにはより難しい立場にあるヨットを保護する。風下側のポートタックのヨットが衝突を避けるためにタックする必要がある場合は、オーバーラップしてようとクリアアスターンにしようと、規則43によって、風上艇に対してタックをするためのルームをくれるよう声をかけることができる。

あぶないのが、2隻のオーバーラップしているヨットのうち風上艇である場合、そのヨットは規則42.1(a)によって、ベアして障害物をかわすためのルームを要求することができる。

このケースでは、規則43ではなく、後者の規則がPWに適用される。

PWは問題を解決するために、風上側の広い水面に向かってタックすることもできたし、レースの戦略を考えればその方が良かったかもしれない。

しかし、この状況はPLの決断次第である。もしPLが規則43によってタックを要求することをしないか、このケースのようにそうする権利がない場合には、障害物を通過する外側の艇として、規則42.1(a)に従って、風上艇に同じ側を通過するルームを与えなければならない。

PLはルームを与えなかったのだから、プロテスト委員会の判決を破棄する。

PWの失格を取り消し、PLを失格とする。

波に対するテクニク（1）

by Steve Sleight

波 — 人によっては、それは邪魔な液体のてこぼことしか思えないものかもしれない。しかし、ある人々にとっては、波は海でのセイリングに欠かすことのできない、天然のジェット・コースターなのである。

軽風で波のない海面では、平水面用にセットアップしてある艇にとっても好条件である。しかし、風が強くなり波がでてくれば、当然の事ながら、このセットアップを変えてゆかねばならない。平水面に適した、エントリーが浅く、リーチがタイトで、全体的に浅いセイルは、もっと深くツイストしているセイルが必要な波のある状況下においては、使いものにならなくなる。つまり、波の中では上り角度を追求するよりも、パワーのあるリグで、波を乗り越えていくスピードを得る方が大切だからである。

波の作用を考慮するのは タクティクスの内である

基本的なルールとしては、①クローズホールドでは可能な限り波を避け、②フリーではひとつでも多くの波に乗って前進力を得るように努力する、ことである。これだけで、たいていは成功するはずである。

クローズホールドでの向かい波はマイナス要素ばかりで、はたかれ、スピードが落ち、ボートのハンドリングを困難にする。波のある時には、艇をフラットに保つことが鉄則である。艇がしっかり起きていればスピードは最高になるし、舵ききも良く、ラダーとセンターボードのキャビテーションも最小に押えられる。このキャビテーションは、波のある時には、センターボードやラダーが部分的に水から飛び出してしまうために起こる。空気がボードに巻き込まれて、性能を低下させるのである。

クローズのスピードを得るのに必要なのは、ステアリング技術である。平水面では舵を最小限しか使わないようにしているが、これは動かした分だけ抵抗になり、スピードを落としてしまうからである。しかし、波が大きい時にはこの程度の抵抗を気にするよりも、波にはたかれて止まることの方が深刻な問題となる。慣れた人の動きを見ていると、時には多過ぎるほどひんばんに舵を使っている。もっとも、動かす幅は最小限にとどめている。

新戦力紹介

No.6441 梶原 宣吾

この度、材木座フリートに仲間入りさせていただきます。昨年7月に大阪から仕事の関係で上京し、言葉のハンディキャップと仕事と戦いながら約半年が過ぎました。

学生時代に広島で約4年間スナイプにのり、卒業後外航船に約一年、三等航海士として乗っておりました。

海と船が大好き!!酒と女は強くはありませんが、好きな23歳のナイスガイです。

シングルハンダーは、全く素人ですので宜しく御指導下さい。

おめでとうございます

☆中嶋・奥山選手に続き池田選手が秋に挙式決定。

☆山本選手が8月にパパとなります。

ガンバレ近藤

毎週土日、近藤選手が精力的に冬期トレーニングを行なっています。2月のフリートレースでは、その成果が少し表れました。今シーズンの走りが注目されます。

材木座・葉山 F 合同 伊東遠征

激突 浜名湖 F vs 材木座 F
設楽 優勝

2月27、28日、恒例となった伊東遠征を今年は葉山 F と合同で行なった。

27日(土) 泊地で第1回材木座テニス選手権を予定していたが朝から雪、鎌倉出発を遅らせ14:00に伊豆高原に到着。温泉にどっぷりとつかり最高の静養となる。

19:00葉山 F が合流し、夕食会などで親睦を深める。

28日(日) 早朝トップロープの犠牲者もでず全員すばらしい目ざめ。西風におびえながらレース会場の伊東松原海岸に向かう。

レースは東の風、2～6 mで2レースが成立、設楽選手が5-1で優勝をかざり、3位橋本、4位井上(信)と材木座の圧勝となった。葉山 F では、柴田選手がレース海面になれた第2 Rで4位とシングル入りし健闘した。

総合 順位	氏名	級	No.	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	設楽	S H	1781	材木座	5	10.0	1	0.0	10.0
2	小池	S H	2501	浜名湖	3	5.7	6	11.7	17.4
3	橋本	S H	6375	材木座	4	8.0	5	10.0	18.0
4	井上	S H	8366	材木座	9	15.0	2	3.0	18.0
5	蜂須賀	S H	9122	浜名湖	8	14.0	3	5.7	19.7
6	平野	L S	120071		1	0.0	1 4	20.0	20.0
7	鈴木	S H	1630	浜名湖	2	3.0	1 2	18.0	21.0
8	柴田	S H	10423	葉山	1 0	16.0	4	8.0	24.0
9	鈴木	S H	1545	浜名湖	7	13.0	7	13.0	26.0
1 0	小川	L S	122690		1 2	18.0	1 0	16.0	34.0
1 1	杉浦	S H	9821	材木座	1 4	20.0	9	15.0	35.0
1 3	近藤	S H	10048	材木座	1 3	19.0	1 3	19.0	38.0
1 4	柳橋	S H	10385	葉山	1 5	21.0	1 1	17.0	38.0
1 5	武田	S H	9853	材木座	1 1	17.0	1 6	22.0	39.0
2 1	落合	S H	9489	葉山	1 9	25.0	2 2	28.0	53.0
2 2	奥野	S H	10116	葉山	2 2	28.0	1 9	25.0	53.0
2 4	鈴木	S H	10531	葉山	2 4	30.0	2 5	31.0	61.0
2 7	蓮沼	S H	3690	材木座	DNC	41.0	2 3	29.0	70.0

[シングル エントリー 30艇]



ルネッサ伊豆高原教会にて



[レースハイライト]

☆第1 R 第1下マーク

橋本、設楽、杉浦、武田の材木座4選手で1～4位独占回航。ヤッタゼ しかし、浜名湖勢の逆襲にあい、以後苦戦。

☆第2 R 第1上マーク

設楽、井上、橋本の3選手で1～3位独占回航。その後、橋本は順位をおとすが、設楽、井上でワン・ツーフィニッシュ。バンザイ！！

☆海上乱闘

第1 R、第1上をトップ回航した杉浦選手とあの鈴木選手(浜名湖)がサイドマーク回航で「ファイト」二言三言どなり合った後、最後は鈴木選手の「オメエとは話をしたくネエヨ」でチョン。相手が相手だけにレース後、橋本選手が和睦工作に悪戦苦闘。



伊東に遠征した材木座・葉山連合機動部隊

第3回材木座フリースレース

レース海面：材 木 座 沖
風 向 速 ：第1R:190° 2～4m
第2R:190° 4～5m
【 3月13日 】 運 営 ：井上(信).池田

総合 順位	氏名	No.	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	手代木	10608	材木座	①	0.0	③	5.7	5.7
2	設楽	1781	材木座	4	8.0	②	3.0	11.0
3	柴田	10423	葉山	6	11.7	①	0.0	11.7
4	武田	10722	材木座	②	3.0	5	10.0	13.0
5	山本	8990	材木座	③	5.7	6	11.7	17.4
6	橋本	6375	材木座	5	10.0	7	13.0	23.0
7	近藤	10048	材木座	1 0	16.0	4	8.0	24.0
8		5437	逗子	7	13.0	9	15.0	28.0
9	黒田	10248	葉山	8	14.0	1 0	16.0	30.0
1 0	奥野	10116	葉山	1 2	18.0	8	14.0	32.0
1 1	柳橋	10385	葉山	9	15.0	1 2	18.0	33.0
1 2	小川	8380	材木座	1 1	17.0	1 1	17.0	34.0
1 3	鈴木	10531	葉山	1 3	19.0	1 3	19.0	38.0

【トップ艇所用時間 第1R：65分 第2R：54分】

東日本選手権 日程変更

6月11日・12日
↓
5月21日・22日

波に対するテクニック（2）

by Steve Sleight

クローズでの狙いは、波のパターンから見て、抵抗の少ない場所を選んで走ることである。したがって、スキッパーはバウに向かってくる波から目を離さないことが大切である。実際のステアリング・テクニックは、波の種類とヘルムスマンの感覚によって異なる。

規則的で波長の長いタイプの波は、1つずつ対処する余裕の持てる楽な波だと言えよう。まず、バウが波の谷間からまさに上り始めた時、わずかにラフする。これにより艇が受ける抵抗が減り、同時に風上への距離も少し稼いだことになる。もし、ラフイングのタイミングが合わなければ、波はバウの風上側に当たり、バウを風下に押しむけ、結果としてスピードが落ちてヒールしてしまう。次に、バウが波の頂点を越えるやいなや、またクローズまでコースを戻し、波の背中側をすべり降りるようにする。これが波に対する基本的な操船テクニックである。

大きな波の場合、波の頂上では風が強くなっているの、余計にハイクアウトしたり、シートをトリムして対処しなければならない。そして、波の背中側を降りてゆく時には再びシートを引きこむようにする。

体の動きで波を越えてゆくのも効果的である。このテクニックを覚えるには、トップレーサーたちが、どんな小さな波に対しても体を使っているのを見るとよい。バウが波を上り始めたら、体重を後方へ移動してバウを持ちあげる。これは、単に上体を後方へ傾けることによってなされる。そして、バウが波の頂上を通過したら体重を再び前方へ移動する。この体の動きとティラー操作が自然に行なえるように練習しなければならない。

チョッピーな波の場合、1つずつの波に対処する余裕がなくなる。この場合は大きめの波を選んで、今まで説明してきた方法で乗り越え、ひどい所はベアして避けるようにする。こうゆう波は集中力が要求される。何艇身か前方を注意深く見て悪い位置を避け、絶対に艇がはたかれて止まることがないようにする。

ACCIDENT

2月21日、葉山沖にて葉山F練習レースに参加していた山本・蓮沼両選手が「激突」。山本艇のハルに大穴があき浸水、危機一髪となった。

【事 故 状 況】

フレ.強弱の激しい北西の風8～12m、下マーク10艇身程手前で山本選手が蓮沼選手の風上にオーバーラップ(双方ポートの真ラン)。数秒後、山本選手がマーク方向にベアした時ブローが入りアンヒール沈。接近していた蓮沼選手もブローチングぎみになり、半沈状態の山本艇のハル後方にバウから衝突。

(蓮沼選手の話)

「マーク回航のため2艇が接近、その時ブローが入った。プレーニングしてたし避けきれなかった」

この日は、材木座から橋本、井上(信)、近藤も参加。各選手とも一回以上は沈をする状況下であった。接近戦での沈・激突は、不運としか言いようがない。幸運だったのは、レスキューボートをだしての練習レースだったため、潜水艦となった山本艇をなんとか葉山海岸まで引っばってこれたことであった。(葉山Fさん ありがとう)

【教 訓】

事故処理中、山本選手がドライスーツを破ってしまった。この時期、破れたドライスーツで海中にいるのは想像するだけでも怖い。

(山本選手の話)

「やけに冷たいと思ったらドライスーツのヒザの辺が破けていた。少しでも破けると、そこから裂けるように破けた」

ドライスーツは便利だが、損傷するととても危険になる。下半身には、必ずジャージ等を重ねはくようにしたい。上半身にも何か着て、ドライスーツを保護した方がいいのかもしれない。

人間さえ元気であればトラブルはスムーズに処理できる。

【タケちゃんマン登場】

事故処理後、葉山海岸で寒さと疲労回復を兼ねて風のおちるのを待っていた材木座一同だったが、いっこうにその気配がない。「バスで帰ろうか」「だれか根性で材木座まで回航して車で迎えにこいや」などなど無責任な意見を出し合っているうち、「武田が葉山マリーナにいる」と名案を発見。早速ジュニアスクールでマリーナに来ている武田選手に電話連絡「4艇引っぱれる船で迎えにこい」さっそうと登場した武田選手のスクール用レスキューで、4艇、5人材木座まで無事曳航。

Race Schedule

- 4月10日 湘南チャンピオンサーキット第1戦（葉山）
運営委員長：橋本 重一
 - 5月5日 第3回サムタイムカップ（葉山）
 - 5月8日 湘南チャンピオンサーキット第2戦（葉山）
運営委員長：設楽 孝芳
 - 5月21～22日 東 日 本 選 手 権（猪苗代湖）
- ※東日本選手権の日程が変更されましたので
6月のサーキットレースを第2日曜日とします。
- 6月12日 湘南サーキット第3戦

湘南チャンピオンサーキット 材木座フリースレース [帆走指示書・変更・追加]

レースの中止

トップ艇が第1下マーク(三角一周)を1時間以内に回航できない時は、そのレースは中止される。

コースの短縮

コースの短縮は、第4レグ以後でなければならない。
(第1下マークでは短縮できない)

タイムリミット

120分、又はトップ艇フィニッシュ後30分の早い方とする。

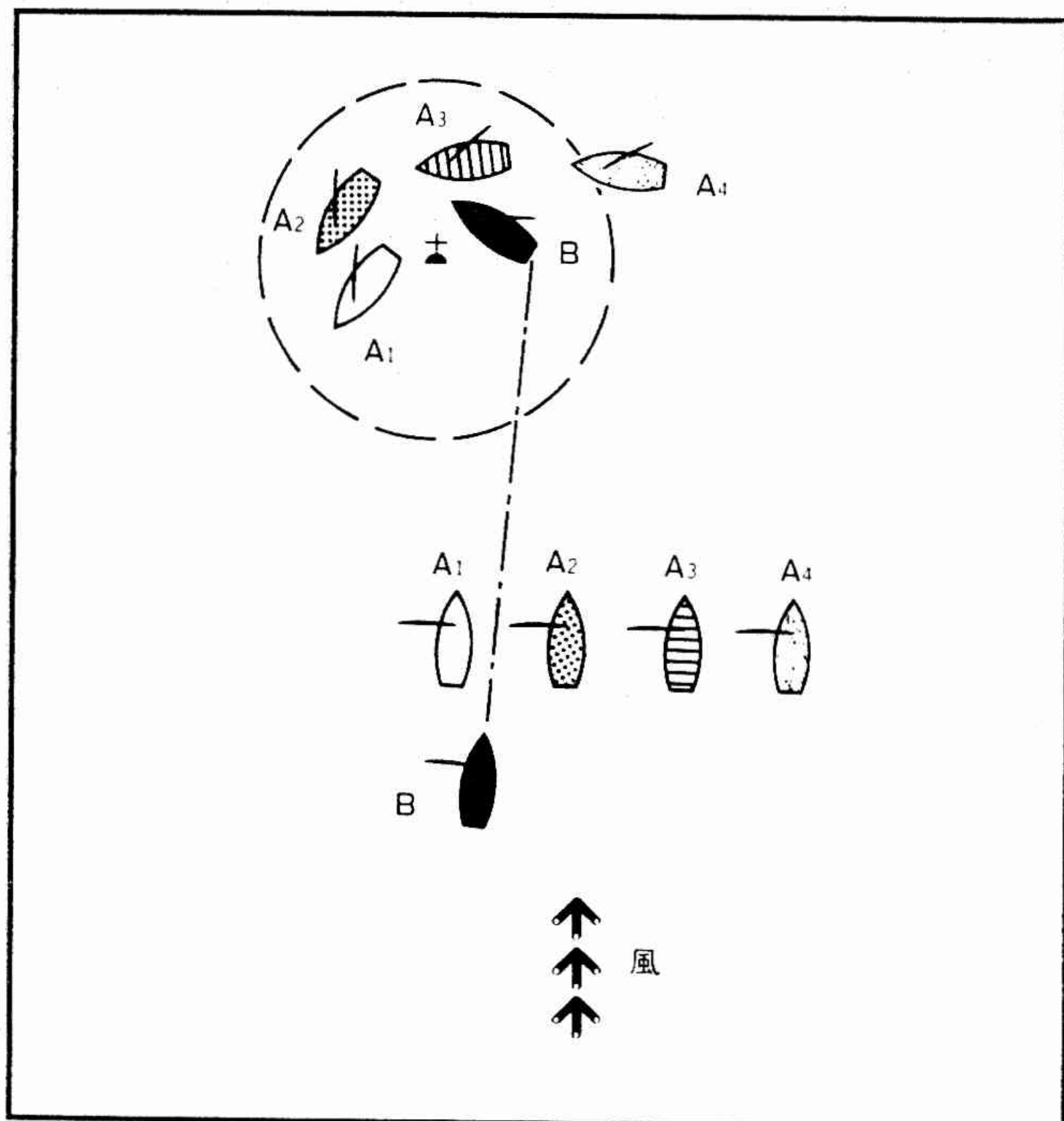
国際ヨット競技連盟判例集

規則42、マークにおけるルーム

ヨットがマークの横に来たが、そのマークから2艇身以上の距離にあり、しかもマークの方向に向かってコースを変えたことで、それまでクリアアスターンにあったヨットに内側へオーバーラップされることになった場合、規則42.1(a)は内側のヨットに対しルームを与えることを命じている。マークからの距離が、内側にオーバーラップしていた別のヨットにルームを与えたことが原因であったとしても、そのヨットにルームを与えることが必要である。

質問

5隻のヨットが真追手で風下マークに近づいている。4隻は一列になってオーバーラップしA1が一番マーク寄りにいる。5番目のヨットBは、A1の後で、A1とA2がマークから2艇身以内になった時、前方の一列に並んでいる4隻すべてのクリアアスターンにいる。前方の4隻がマークに到達し、マークを回航しはじめた時、A3とA4のBに対する角度の変更のため両艇がマークから2艇身以上離れている間にBは内側にオーバーラップすることになる。BはA1とA2の後、A3とA4の内



側でマークを回航する。A3とA4はBにルームを与えることができる。

Bは規則42によってA3とA4にルームを要求する権利があるだろうか。

回答

BはA1とA2がマークから2艇身以内になった時、2艇の後にいたのであるから、規則42.2(a)によってそれらの「回航または通過の行動を予測し、その間」それらのヨットを避けることが必要である。しかし、2隻の外側のヨットとBの間には別の関係が生じる。A3とA4は、ブームをいっぱい押し出している2隻の内側のヨットに対してルームを与えるために、2艇身サークルの横の外側のコースからマークに近づかなければならない。A3とA4がマークに向かってコースを変え、両艇がマークから2艇身の外にいる間にBは内側でオーバーラップする。こうしてBは規則42.3(a)によって、A3とA4が与えることのできる規則42.1(a)のルームを要求する権利を得る。

新戦力紹介

No.9853 井上 透

広島県Y S A出島フリートより12月に赴任致しました井上 透です。

今迄、スナイプ、シカーラ、各種クルーザー、大小モーターボートに遊び中心で乗っておりました。一方、レースは大好きで、材木座フリートさんはレースの回数が多いとのことで入れて頂きました。

今年度の全国大会は山口県光市とのこと、広島ヨット仲間には、必ず来ると下見栄切って上京しております。シーホッパーでとはゼイタク申しませんで、人の少ないクラスでも全国大会に行ければと思い頑張ります。

妻1人、娘2人、会社のヨット部の長老という立場にあり、月1～2回の出席となるとと思いますがよろしくお願い致します。

強力新人加入

No.10608 手代木 宏

これから材木座フリートで、いっしょにホッパーに乗ることになりました手代木(テシロギ)です。

大学時代はじめて470に乗ったのがヨットとの出会いでした。在学中はレース主体で乗っていたため、卒業後シカーラに乗っても、何か物足りなく感じていました。昨年パートナーとのコンビ解消を機会に、自分の体力の衰えも顧みず、ホッパーに乗り換わりましたが、シングルハンダーははじめてで、しかもこんなに安定の悪い船には乗ったことがなく、毎回悪戦苦闘の連続です。

これからフリートの皆様には、色々ご指導いただくことになると思いますので、よろしくお願い致します。

サマタイムカップ参加選手へ

4月10日までに所定の参加申込書(フリートハウスにある)に記入し参加料を添えて、近藤まで申し込むこと。

武田選手が湖衣姫と出会う

バレンタインデーをきっかけとして武田選手に彼女ができました。その名は「ヒロミ」病院で受付嬢をしているそうです。思えば昨年末のクリスマスの夜は、ひとりさみしく合宿所の便所掃除をしていたと聞きます。
ガンバレヤ～

[朗 報]

ヒロミ姫の勤務する病院にはあと1人、美人と評判の受付嬢がいるそうです。希望者は武田選手まで
早い者勝ち!!

[SAIL No. 変更]

井上 透 No.3721 → No.9853

武田 清 No.9853 → No.10722

NEWS

SeaHopper '88.4
Zaimokuza Fleet

シーホッパー級湘南チャンピオンサーキット第1戦

手代木・先勝

[photo by B.TAKEDA]

レース海面：逗子沖

風向速：第1R:180° 2~4m

第2R:185° 4~7m



第1R. サイドをトップ回航する優勝した手代木選手



第1R. 柴田.山本.久美.村岡.松田の中位集団



第2R. サイドトップ回航は山下.続いて落合.中嶋.手代木.上田と回航



第2R. 6~10位の集団を形成する森口.設楽.蓮沼.近藤.橋本の材木座勢

総合 順位	氏名	No	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	手代木	10608	材木座	①	0.0	③	5.7	5.7
2	山下	9756	材木座	5	10.0	①	0.0	10.0
3	森口	9545	材木座	7	13.0	②	3.0	16.0
4	岡崎	3782	逗子	②	3.0	10	16.0	19.0
5	柴田	10423	葉山	6	11.7	6	11.7	23.4
6	橋本	10757	材木座	11	17.0	5	10.0	27.0
7	奥野	10116	葉山	③	5.7	18	24.0	29.7
8	上田	7785	葉山	18	24.0	4	8.0	32.0
9	設楽	1781	材木座	14	20.0	7	13.0	33.0
10	蓮沼	3690	材木座	10	16.0	13	19.0	35.0
11	宮腰	9605	逗子	9	15.0	14	20.0	35.0
12	中嶋	10755	材木座	17	23.0	8	14.0	37.0
13	黒田	10248	葉山	4	8.0	23	29.0	37.0
14	山本	8990	材木座	15	21.0	11	17.0	38.0
15	村岡	10397	逗子	8	14.0	21	27.0	41.0
16	杉浦	9821	材木座	13	19.0	17	23.0	42.0
17	佐藤	6362	材木座	16	22.0	16	22.0	44.0
18	近藤	10048	材木座	21	27.0	12	18.0	45.0
19	柳橋	10385	葉山	25	31.0	9	15.0	46.0
20	井上	9853	材木座	12	18.0	24	30.0	48.0
21	落合	10744	葉山	23	29.0	15	21.0	50.0
22	鈴木	10531	葉山	20	26.0	22	28.0	54.0
23	稲葉	10287	野比	24	30.0	19	25.0	55.0
24	杉本	9823	逗子	19	25.0	25	31.0	56.0
25	峰岸	5126	材木座	27	33.0	20	26.0	59.0
26	梶原	6441	材木座	22	28.0	26	32.0	60.0
27	松田	10346	材木座	26	32.0	27	33.0	65.0
28	東道	8145	葉山	DNS	36.0	28	34.0	70.0
29	大橋	10132	葉山	DNS	36.0	DSQ	37.0	73.0
3	武田	10722	材木座	COM		COM		
	南斎		葉山	COM		COM		

[トップ艇所用時間 第1R:50分 第2R:51分]

[会計報告]

(収入)

エントリーフィ(1,500×29人) 43,500
¥43,500

(支出)

運営船ガソリン.オイル 4,300
海岸パーティ(ビール.とん汁.他) 15,300
賞品(1~3位) 4,670
¥24,270

※参加賞(パンダナ)は協会からの援助金による。
※第2戦の参加賞は、第1戦に撮影した写真で作製するテレホンカードの予定。

日本シーホッパー協会
湘南合同レース委員会

Race Schedule

- 5月5日 第3回サムタイムカップ (葉山)
5月8日 湘南チャンピオンサーキット第2戦 (葉山)
運営委員長: 設楽 孝芳
5月15日 全日本オープンレース (江ノ島)
5月21~22日 東日本選手権 (宮城県七ヶ浜)
6月12日 湘南チャンピオンサーキット第3戦 (葉山)
運営委員長: 杉浦 衡
6月26日 関東選手権 (江ノ島)

第3回東日本選手権大会

主催 日本シーホッパー協会
主管 日本シーホッパー協会東北支部
期日 昭和63年5月21(土)~22(日)
会場 宮城県宮城郡七ヶ浜町花淵浜

大会日程

- 5月21日(土) 10:00~12:00 参加受付
12:00~12:30 開会式・艇長会議
14:00~ 第1レース
18:00~19:30 パーティ(前田屋)
5月22日(日) 9:00~ 第2・3レース
15:00~ 表彰式・閉会式

参加料 6,000円

申込期限 昭和63年5月10日

宿泊 前田屋旅館

宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜浜屋敷3-1

☎ 022-357-3737

賞典 優勝 優勝杯・賞状・日刊スポーツ杯・副賞
2~6位 トロフィー・日刊スポーツ賞・副賞
飛賞 お楽しみ

参加賞 参加者全員

優勝者は第14回シーホッパー級全日本選手権
の出場権を与える

【材木座F遠征日程】

- 5月20日(金) 22:00頃 合宿所集合
5月21日(土) 5:00頃 鎌倉発
11:00頃 花淵浜着
5月22日(日) 16:00頃 花淵浜発
22:00頃 鎌倉着



波に対するテクニック (3)

by Steve Sleight

「うねりの中でのタックにはトリックが必要」
うねりの中でのタッキングではちょっとしたトリックが必要になるが、もし失敗すると波の谷間でのたうちまわり、最悪の状態へと追いやられる。波をよく見てタックするのに都合の良いフラットな所を見つけ、タックに必要なスピードをベアして得る。バウが波を上り始め、頂上を越えたらすぐにタックする。この状態ならばラダーは100%水についているからコントロールしやすいはずである。言うまでもなく、この時もキープフラットの鉄則を忘れてはならない。必要なだけ舵を使い、スピードをつけてタックを行なう。そうすれば、次の波に当たる前に新しいタックでシートを引き込み、加速して波の背中を滑り降りて行ける。

「パンピングはフリーでは重要なテクニック」
コースをフリーに落とせば波という敵は友に変わり、協力者となる。タイトリーチで波を斜め後ろから受ける時でさえ、1つでも多くの波に乗らなければならないし、もっと落としたコースではできるだけ長時間波に乗り続けることが大切である。フリーでの秘訣もやはりキープフラットである。艇をアンヒールさせてセイルをなるべく外へ出し、センターボードをあげてヘルムをニュートラルに保つ。そして波に飛びこんで行く時にはバウが宙に浮き、重心も高く、ボートも上がっているの、体重を移動するか、またははずみをつけてバウを波の谷間へ落とすようにする。この動作をするやいなや素早くセイルをパンピングして加速し、すぐに今度は体を後方に移動して新しい見かけの風に合わせてシートをつめる(加速すると風は前方にシフトする)。フリーでスターン寄りに座ってリラックスしていれば体を取り残されてしまいやすい。犯しやすいミスは波に乗せる前に前方への体重移動が不十分にもかかわらず、後方へは移動しすぎてトランサムをひきずり、スピード抵抗になってしまうことである。

ルール上では波1コに対して3回までのパンピングを認められているため、パンピングは極めて重要なテクニックとなる。スピードがつけば見かけの風は前方にシフトするので、シートはいつでも引けるように準備し、体勢を整えておき、このふれを有効に利用する。また、スピードが落ちたらシートをすぐに出すようにする。

☆警告

アニマル井上選手からの報告によりますと、バングのボルトが金属疲労してヤバイ状態であったとのことです。材木座式バングシステムを使用して一年以上経過している選手は、ボルトの疲労具合を確認した方がよさそうです。

☆企画

去年のサムタイムカップでは、インディアン的化粧とレース中の奇声で各方面からヒンシュクをかいました。今年もこりずに「企画もの」でレースをもり上げたいと思います。そこで今年のテーマは「武田信玄・騎艇隊」になりそうです。現在、実現に向けて実行委員が企画中です。

実行委員: バズーカ武田

ドラゴン近藤

【SAIL No 変更】

- 蓮沼 藤夫 No.3690 -- No.10752
中嶋 英晴 No.7609 -- No.10755
橋本 重一 No.6375 -- No.10757

協会登録受付中

『故郷。福山に帰っていたサバイバル三島選手が、5月3日、奥山選手の結婚披露宴出席のため上京、久びさにあの元気な姿をみせてくれました。また、材木座フリートニュース・西日本特派員として、4月16～17日に行なわれた西日本選手権のレポートも届きました。』

西日本通信 No. 1

三島正憲

材木座フリートのみなさん元気ですか。
現在、福山市(広島県)にある小室浜というところでホッパーに乗っています。
福山にはYSAのクラブはなく、ディンギーでは、スナイプ、モスなどの人がホッパーに乗っているという状況です。でも昨年あたりから本気で乗っている人も増えているということです。
そこで、4月16,17日 高松の志度で行なわれたシーホッパー級西日本選手権に福山ヨットクラブの土居さん(現スナイプ乗り)と開通したばかりの瀬戸大橋を渡り参加しました。
レースは瀬戸内海特有の風と潮の有る強弱の差の激しいコンディションで、宮津(87年全日本)のレースの再現といった感じでした。
成績は、DNS-37-37で参加77艇中57位と悲惨な結果でした。十分な練習もしないで参加したので当然といえば当然ですが、軽風の密集状態で西日本の選手のうまさは数段上だと思いました。これからは、軽風と密集状態でセイリングの克服を目標にがんばりたいと思います。

それでは合言葉を

「全日本で会いましょう!!」

☆上位選手の成績

1位	松下	(10192)	1-2-1
2位	佐竹	(10162)	4-8-6
3位	藤原	(1070)	3-6-12
4位	木内	(9450)	16-3-4
5位	兵藤	(10185)	9-20-2
6位	伊藤	(10094)	11-21-5
10位	土居	(10466)	7-12-27
11位	九富	(9132)	18-1-30



小室浜で練習する三島選手



これが噂の瀬戸大橋

波に対するテクニック (4)

by Steve Sleight

「波に乗せるというのはテクニックの1つにすぎない」
普通、プレーニングコンディションが存在する時や、良いブローがある時にしか波に乗れないと考えられがちだが、体重移動とパンピングによって、ある程度の弱い風でも乗ることができ、プロはこんな時に差をつけるのである。

「波に乗せる」というのはテクニックの1部でしかない。次のステップは乗り続けることである。上手にサーフィングしても、追いついた前の波にバウを突込んで止めるようなことではどうしようもない。熟練サーファーを見ていると波に対して直角に近い角度ですべて時間を延ばしている。同じテクニックがディンギーにも必要なのである。波の表面を谷間に落ちて行く時、ラフ、またはベアして直角に押されるようにする。秘訣は「直角」である。ベアしすぎると谷間に突込んだり前の波に突きささるが、角度がないと乗ったはずの波が下を通過していつてしまう。

微妙なテクニックは練習によってのみ得られる。ブロードリーチで見られがちなミスは、ヘルムスマンが上らせすぎていることである。原因は落とし過ぎのワイルドジャイブを恐れているからであるが、艇が加速すれば見かけの風は前方へふれるので、ベアして波に乗ることはラフするのと同様の効果がある。こうしてベアするとラフィングした後のコース修正に有効である。

もちろん波に乗り損うこともあるだろう。誰もが全部の波に乗ることは不可能なのだから、次の波に乗り損じないように神経を集中するようにする。また、スピードが落ちた時のトリムも忘れてはならない。

アビームやクロズリーチングで波がコースに対して直角に近い時は、長く乗り過ぎるとコースよりも余分に落とし過ぎてしまう。これをカバーするには、大きな波やブローでベアして、平らな所やラルではラムラインまで上って戻るようにすることである。

プレーニングコンディションで波の状態が良いと波を追いついてしまう時がある。この時は追いついた波にバウを突込まないようにする。突込めば急ブレーキとなりコントロールを失ってしまうだろう。それを避けるためには体重移動でバウを持ち上げ、波の向きにうまく角度を合わせるようにする。

ジャイビングは悩みの種であるが、波の中では恐怖の一瞬へと変わる。多くの本で述べられていることを繰り返すことになるが「スピードがある時にジャイブしろ」が答えである。波の頂上を越えて前面に出てうんとスピードがついた時がチャンスである。速く走れば見かけの風の力は弱くなり、したがってリグにかかる風圧が減るため、ブームを楽にかえすことができる。波が大きくなれば見かけの風が前へ行くほどスピードがつき、ブームが真中でシバーすることもある。そうなればジャイブは楽勝である。強風時のジャイブの鉄則もキープフラットである。ランニングではセンターを3/4はあげ、あとは信じる、祈ること、そして、ただ実行に移るだけである。結果が楽しみである。(おわり)

Race Schedule

- 5月21,22日 東日本選手権(宮城県七ヶ浜)
- 6月5日 神奈川県選手権[国体一次予選](江ノ島)
- 6月12日 湘南チャンピオンサーキット第3戦(葉山)
運営委員長: 杉浦 衡
- 6月26日 関東選手権(江ノ島)
- 7月10日 湘南チャンピオンサーキット第4戦(葉山)
運営委員長: 橋本 重一
- 7月30,31日 ディンギージャンボリー(河口湖)

サーキット第2戦は荒天のため中止

text by Dave Perry

【 状況を検討する 】

第一のステップは、得た情報を入れるプログラムを
ることから始まる。ある状況で何をすべきかを決定する
前に、次の4つの質問を考えてみよう。

- 1) 次になし得る動きは何か？
- 2) 次にあり得る動きは何か？
- 3) 次の動きはどうなっているか、また、それに影響
を与えることはできるか？
- 4) 可能性のある結果の中で、最高のポジションをとる
にはどうすればよいのか？

状況の中には、繰り返して起きるものもあるが、そうい
うものには何度も出くわしているわけだから、そういう
場合には、これらの質問に対する答え、例えば、自分の
艇は、スターボード・レイ・ラインには2艇身足りず、
風上マークまであと約10艇身のところをスターボード・
タックで走っているとしてみよう。また、こちらがタック
して、2艇身の差でクロスできるスターボード・タック
艇がもう1艇いるとする。ポート・タック艇が近づい
てきて、ちょうどこちらの風上でタックしようとする。
こちらの艇としてすぐとるべき行動は？
正解——もちろん、すぐタックして、もう1艇のスター
ボード・タック艇の前に出、さらにもう一度タックして、
レイ・ライン上のクリーン・エアーに出るのである。もし、
以前に他艇による乱流の中で我慢したあげく、結局、
こちらがスロウダウンし始めたとき、風上側のスター
ボード・タック艇が素早く動いて突然行く手をふさいで
しまい、こちらは、この艇の後ろからでなければタック
できないようにされてしまったという経験があれば、答
えはおのずと出て来るはずだ。

しかし、1シーズン中に何度もぶつからないような状
況もあり、こういう場合については、考えなくてはなら
ないので、答えを出すのに少し時間がかかる。ここにち
ょっとめげてしまいそうな事実がある。つまり、タフな
レースを数多くこなしたセイラーほどいろいろな状況に
より多く出あっているのだから、答えを出して正しい行動を
とるのも早くできるということだ。

けれど、これが絶対というわけではない！ タクティク
ス上の反応時間を短くする方法は、キャリアだけでなく
他にもあるはずだ。レースの成績を向上させたいという
気持ちがあれば、コース上で出会うかもしれない状況は、
全て、陸上で検討することができるのだ。ある状況を設
定し、これを組み立ててみて、各艇の位置をきめればよ
いわけだから……

ある艇がどのように動き、他の艇は、これに対してど
のように動くか、そして、先に動いた艇はこれに対して
どんな反応を示すか、を考えてみよう。これをリアルに
やっておれば、コース上で同じような状況になった時に
何をすればよいかわかっているのだから、すぐに動けるよ
うになるだろう。また、多くの状況は、必ずしも、簡単な
解決法があるとは限らないということもわかるはずだ。

我々はタクティクスに敏感であらねばならない。レー
スの終了後、できるだけ早く頭の中でもう一度そのレー
スの経過を繰り返して見て、自分が出会ったタクティク
スを使った場面を思い出して、どんなふうに対応したかを再
チェックし、また、あの時は、ああ出ずに、こう動けばよ
かった。などと考えるとよいだろう。自分の頭の中の
「タクティカル・バック」は、すぐに宝物でふくれ上
がり、ルールに従って戦う楽しみも、一層大きくなるは
ずだ。

新 戦 力 紹 介

No.10641 沼 川 滋

今迄、シーマーチンで平和なセイリングをして来まし
たが、シーホッパーへの乗り換えを機会に仲間入りさせ
ていただきました。

ウデマエは、そこに浅瀬がある事を知りつつ和賀江島
に3度も突っ込んだ事のある全くの素人です。

材木座フリートは、レベルの高い過激なフリートと聞
いて、かなりの不安を抱いておりますが、まずはレース
完走をめざして頑張りますので、よろしくお願いします。



2位	手代木	10608	材	5位	杉 浦	9821	材
10位	柳 橋	10385	葉	11位	山 本	8990	材
12位	橋 本	10757	材	13位	井 上	9853	材
14位	蓮 沼	3690	材	18位	井 上	8633	材
21位	山 下	9756	材	23位	村 岡	10397	逗
24位	柴 田	10423	葉	27位	大 倉	5437	逗
28位	宮 腰	9605	逗	29位	西	7324	材
30位	奥 野	10116	葉	31位	設 楽	1781	材
32位	武 田	10722	材	33位	佐 藤	6362	材
34位	黒 田	10248	葉	37位	中 嶋	10755	材
40位	松 田	10346	材	41位	鈴 木	10531	葉
45位	峰 岸	5126	材	47位	落 合	10744	葉
48位	近 藤	10048	材	52位	杉 本	9823	逗
59位	池 田	5545	材	[エントリー 66艇]			

オ ギ ャ

No.9945 豊田 ナナ

春の訪れとともに、待望の元気な男の子航平が誕生
しました。

ミルクをいっぱい飲んで、目をみはらんばかりにぐんぐ
ん育っています。

さっそくにお祝いの品をお送りくださいますとありがと
うございました。とてもかわいいブーツとタオル、早く
はかせて海につれて行きたいナと思います。

妊娠、出産をとおして、多少体重は増えたものの、筋力、
体力ともに全く無くなってしまって、かなり不安ですが、
復帰できる日を夢見て努力したいと思います。

それでは、お目にかかれるときまで……

【 住 所 変 更 】

奥山 誠人 (結婚・新居)

〒246 横浜市瀬谷区阿久和町

山下 健 (転勤)

〒317 日立市会瀬町

山県 秀人 (金欠病・妹と同居)

〒335 戸田市新曾

【 住 所 録 追 加 】

沼川 滋 No.10641 ZSC

〒233 横浜市港南区野庭町

第3回シーホッパー級 東日本選手権大会

☆ 設楽初優勝 ☆

5月21日～22日、宮城県七ヶ浜町花刈浜にて第3回シーホッパー級東日本選手権が開催された。エントリーは函館から浜名湖までの東日本全域より45艇で、材木座からは、橋本井上(信)・山県・設楽・杉浦・近藤の6選手と運営スタッフとして僚代嬢が仙台に遠征した。

レースは2～4mの軽風下でのシリーズとなり、設楽選手が6-1-4で初優勝を決め、2位は1.3ポイント差で大竹選手(三戸浜F)、3位には第3Rに泣いた横森選手(長浜F)と関東若手衆で1位～3位を独占した。



大きな大きな優勝カップを手にする設楽選手



函館から浜名湖まで大集合

	氏名	No.	FLEET	1 R	2 R	3 R	総合
				順位	得点	順位	得点
1	設楽	1781	材木座	6	11.7	1	0.0
2	大竹	10489	三戸浜	4	8.0	7	13.0
3	横森	10781	長浜	2	3.0	3	5.7
4	笹谷	10216	青森	10	16.0	5	10.0
5	橋本	10757	材木座	5	10.0	8	14.0
6	井関	4693	秋田	21	27.0	6	11.7
7	箕浦	3868	浜名湖	3	5.7	9	15.0
8	市川	10399	長浜	19	25.0	2	3.0
9	川崎	3823	廻沼	12	18.0	11	17.0
10	杉浦	9821	材木座	13	19.0	4	8.0
11	斉藤	10226	仙台	23	29.0	13	19.0
12	小島	10806	浜名湖	17	23.0	18	24.0
13	中田	3915	廻沼	1	0.0	26	32.0
14	岡崎	3782	逗子	14	20.0	10	16.0
15	伊勢	10117	青森	15	21.0	12	18.0
16	井上	8633	材木座	20	26.0	14	20.0
17	寺田	10139	青森	24	30.0	15	21.0
18	米沢	6243	浜名湖	22	28.0	20	26.0
19	難波	9806	三戸浜	28	34.0	17	23.0
20	河原	10425	青森	36	42.0	24	30.0
21	柴田	10423	葉山	11	17.0	22	28.0
22	高城	1200	仙台	29	35.0	29	35.0
23	鈴木	7964	いわき	16	22.0	28	34.0
24	松本	8661	仙台	30	36.0	19	25.0
25	古市	5936	いわき	9	15.0	31	37.0
26	高坂	9898	青森	18	24.0	21	27.0
27	戸口	6404	浜名湖	8	14.0	DNF	52.0
28	内海	8076	仙台	7	13.0	DNF	52.0
29	佐藤	10228	函館	25	31.0	30	36.0
30	近藤	10048	材木座	26	32.0	25	31.0
31	見上	6499	秋田	31	37.0	16	22.0
32	鈴木	9848	廻沼	32	38.0	32	38.0
33	萩原	3422	稲毛	27	33.0	27	33.0
34	山県	3654	材木座	33	39.0	23	29.0
35	落合	10744	葉山	35	41.0	36	42.0
36	高林	3889	岩手	40	46.0	33	39.0
37	橘	9562	いわき	34	40.0	DNF	52.0
38	柳橋	10385	葉山	38	44.0	DNF	52.0
39	加藤	8677	仙台	41	47.0	35	41.0
40	中柴	9505	いわき	DNC	52.0	34	40.0
40	杉本	9823	逗子	39	45.0	DNF	52.0
42	斉藤	3963	仙台	42	48.0	37	43.0
43	坂本	9920	青森	37	43.0	DNF	52.0
44	武田	10722	材木座	DNC	52.0	DNF	52.0
44	田中	8145	葉山	DNC	52.0	DNF	52.0



東日本を平定した設楽選手(1位)



東日本選手権大会 『私はこうした!!』

No 1781 設楽 孝芳

☆第1レース 東 3~5m/s (5/21)

スタートラインやや上有利、混んでる上を避け真中より艇速をつけてスタート。風が振れているので振れタックで中間コースをひく。左につっ込んだ艇団がのびているが、中間コースも悪くなくいい位置にいる。マークアップローチをポートタックで行った失敗で逆潮にあり、上マークを10番手で回航。1上トップは橋本さん。上ーサイドー下では、艇がいまいち滑らず1つ順位をおとした。2上では風速も上がり、振れもあまり気にならなかったの左につっ込み、2上は6位に浮上。そのまま順位をキープしてフィニッシュ。トップは中田さん。

☆第2レース 南東 2~4m/s (5/22)

優勝するには、今日は1-1かそれに近い順位をとらなければならない。ラインは上有利、ゼネリコ1回の後、上のやや下側を気合十分でスタート。艇の滑りが良く簡単に集団から抜け出る。タックを返して右へ行った艇団の走りが良くないのでそのままのタックをキープ。コース2/3ほどで風が左にシフト、ここで私の下手にいた橋本さんが右へタックを返す。押えに行こうと思ったが、振れ戻る気がしなかった事と沖からのブローを拾ったかったので、20艇身程スタボーをキープしタック。しかしタック後の走りは悪く、最悪なことに右に振れ戻った。ここで完全においていかれてしまい、上マークはトップ橋本さんより10艇身程水をあけられて3位回航。上ーサイドー下では、潮に合わせたコースを引き、先行艇との差をちぢめて橋本さん、箕浦さん、私の順で回航。回航後、先行2艇は左海面に向かうが、右海面にブローが見えたのでそのままポートをのぼす。1上同様艇の滑りが良く、2上では後続艇に10艇身程水をあけてトップ回航。そのままの順位をキープしてダントツでフィニッシュ。

☆第3レース 東 3~5m/s (5/22)

この時点でトップ横森さんとの差は3ポイント。このレースでトップをとれば優勝である。艇の滑りがいいのでなんとかかなと思った。ライン下有利、下7番手位でスタート。振れに合わせて2度タックしスタボーをのぼす。最後の振れが左に大きかったらしく、右へ行った艇団はまったくのびてこない。上マークは2番手の橋本さんに10艇身程差をつけてトップ回航。2上はポート一本正面にある(マークを打ち変えたのではないかと疑問が脳裏をよぎる)。上マーク付近にC旗が上がっている。私は上マークチェンジと勘違いして上マークの内側を通り抜けてしまった。マーク方位310を見てあわててジャイブして上マークを回ったが、その後の走りに精彩が無く、結局、順位を4位までおとしてフィニッシュ。5位以内に横森さんが入ってこなかったので優勝であるが、情けないレース展開であった。

東日本選手権ということでハイレベルの戦いを予想していたが、浜名湖主力も来なく、橋本さん、市川さんの調子もいまいち良くなかったの、全体的にレベルは低かったと思う。次回東日本は、メンバーの集まりやすい浜名湖or江ノ島で行なってほしいものだ。

1上の男に終わった橋本選手(5位)



第3Rが悔まれる杉浦選手(10位)



得意とする軽風だったが……井上選手(16位)



まだまだ力不足だった近藤選手(30位)



しぶとく飛賞のコンパスを獲得した返子の岡崎選手(14位)



軽風では走りません山県選手(34位)

text by Major Hall

【スタート時の敵は上下の2艇だけ】

レースフリートがどんなに大きくなっても、スタートラインがどんなに長く、そして混み合っている、また、私たちがどんなに念入りにスタート時の計画を練っている、スタートの良し悪しは、最終的には私たちのまわりにはいる2～3艇との駆け引きによって決まる。

結論は単純明快である。良いスタートを切るには、スタートの合図と同時に、出し得る最高のスピードで、クリアな風をつかんでラインを横切れればよいのである。

実際のスタートでは、私たちは常に2艇を相手に闘うことになる。ひとつは、私たちの風上側にいる艇であり、もうひとつは風下側の艇である。

自艇の風下側に安全な穴(十分なルーム)をあけるには、風上艇ヘラフし、彼らが私たちの風を乱さないような位置に抑えると同時に、風下艇から少なくとも半艇身以上の距離を保つことが必要である。それは、風下艇のバックウインドの影響を避けるためばかりでなく、私たちが必要に応じてベアするためのルームをあけておくためでもある。

しかし、私たちが上下の2艇に対してそのように動いても、彼らもまた私たちに対して同じように行動するだろう。私たちが風上側に抑えようとする艇は、彼らの風下にやはりベアできるルームを確保しようとし、たぶん私たちにかぶせてくるだろう。同時に、私たちの風下側の艇は私たちがキープしようとしているルームをふさぎ、私たちが彼らをかぶせることができないように、ラフして抑えようとしてくるだろう。

このようにスタートラインでは、両艇でしのぎを削る姿がよく見られる。風下側にルームを確保しようとする艇と、それを抑えようとする艇、また、風上艇を抑えようとする艇と、逆にその艇にかぶせようとする艇が、スタートラインの上で闘いを繰り広げているのである。

新戦力紹介

No 9544 藤森 一弘

はじめまして

琵琶湖で3年間、ほとんど遊びで乗っていましたが、4月の転勤を機会にハーフムーンに船を置くことになりました。関東は置料が関西の2倍以上で、浜もけっこう混んでいるし、おまけにウインドサーフィンばかりでヨットはこちらでは大変だなと思っていました。ところが、あの有名な材木座フリートが近くにあり、なんと入会させてもらえるという、この幸運にめぐり会え、ヨットを続けていてヨカッタと思うしだいです。

レースは好きですので、皆さんについていける様ガンバりますのでヨロシクお願い致します。



ミスに選ばれた沖、渡辺、曾我、本田、上原さん(左から)

新ミス5人決まる

鎌倉

六十三年度ミス鎌倉コンテスト(鎌倉市観光協会主催)が二十九日、鎌倉市立中央公民館で開かれ、新しいミス五人が決まった。
出場者四十四人の中からミスに選ばれた五人には、賞金十万円と香港・シンガポール四泊五日の旅行券がそれぞれ贈られ、これから一年間、同市のさまざまな行事に参加する。
ミスに選ばれたのは、鎌倉市津、立教大経済学部三年沖早織さん(三三〇同市西鎌倉、ピアノ教師渡辺由美子さん(三三〇同市梶原、専門学校一年曾我素子さん(三三〇同市扇ヶ谷、家事手伝い本田智明さん(三三〇同市金沢区金沢、町、関東学院短大二年上原昭恵さん(一九)。

【湘南サーキット第4戦の本部船にミス鎌倉2人が乗船予定です。お楽しみに！】

Race Schedule

- 6月26日 関東選手権・湘南大会(江ノ島)
- 7月3日 中部選手権(浜名湖)
- 7月3日 国体最終予選(江ノ島)
- 7月10日 湘南チャンピオンサーキット第4戦(葉山)
運営委員長: 杉浦 衡
- 7月30.31日 ディンギージャンボリー(河口湖)
- 8月14日 湘南チャンピオンサーキット第5戦(葉山)
運営委員長: 橋本 重一
- 8月21日 関東選手権・北関東大会

☆サーキット第3戦はコンディション不良のため中止

☆関東選手権(6/26)出場選手へ

当日、艇積みする人は7:00までに集合。

江ノ島には、8:00集合

『今月号より「あなたも作文しましょ」コーナーを設けました。第1回目は葉山Fの久美選手の登場です。』

☆ 葉山F 鈴木 久美 ☆

はじめまして!! HAYAMA.F Ladies No1 Sailor!? 10531くーここと、鈴木久美です。「NEWS」に記事を書けるということで2ヶ月前から依頼があったのですが、小学校から夏休みの宿題を提出日前夜にやり始めるという癖がいまだに抜け切れず、実はこの記事も締切前夜に書いています。依頼人からは、おもしろおかしくJ O K Eをたくさんとのことでしたが、一応は女性ですので、しつとりと行きたいと思います。

私は'87年4月より船を始めましたが、レースに出たり考えて練習をするようになったのは今年からです。いまだにひとりでマストを立てられない未熟者ですが、HAYAMA.Fの仲間やとてもやさしいSeamanのおかげで、男たちの熱い闘いの中へおまけのように交ざり現在に至っています。海に出ている時「なんて私って幸せ者なんだろう」と思うんですよ。もう土曜日の晩などうれしくてうれしくて興奮して寝不足になってしまったり、Weekdayも空の下に居ることが多いせいか無意識のうちに風向をチェックしたり「今日の葉山はどんなコンディションかな?」なんてことばかり考えてしまいます。真冬の北風の中でも毎週海に出ているみなさんもそうじゃないですか? いわゆるCrazyってことですが、この気持ちは海に出ている者にしかわからないですよ!!

レースに出ることに限らず、参加することに意義あり、紅一点で特別賞を狙うことに意義あり(Joke)という考えで、いつも完走を目標にしていますが、風速が6～7mを越えとかなりフルハイクがきつくなり「もう限界だ、DNFしたい」と思うこともあります。でもフツと波の頂点に浮き上がったマークを見ると「ここでやめたら人にも負けるし自分にも負ける」と青春しながら気合いを入れ直し、自分で自分の名前を呼んで励ましたり、私の愛艇(PLANET)に「もっと速く走れ!! いい子だから走って!!」とレース中にひとり言をブツブツと言いながらSailingをしていることも少なくはありません。レース中にこの声を耳にした人はまだいないと思いますが、仮に耳にした時は、危ないやつと思わないでくださいね。

船をやった良かったと思うことは、個性のある人にめぐり会えること、精神的に強くなったことetc. すごく自分にプラスになることが多いなとうれしく感じています。やっぱ船に慣れたところで、タクティクス・ストラテジーなどまだまだといった私ですが、最終目標の470に乗るために、この環境と恵まれた身体をフルに活用し、身体の動く限り、船に愛と青春と夢をかけたと思う毎日です。これからもこんな私を可愛いがって下さいませ。それでは、また海の上でお逢いしましょう。

【次号はドラゴン近藤選手の予定です。原稿よろしく】

【SAIL No. 変更】

西了 No 7324 — No 10857

NEWS

SeaHopper '88.7
Zaimokuza Fleet

関東支部選手権 湘南大会

期 日 : 6月26日
レース海面: 江の島沖

総合 順位	氏名	No	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	佐々木	10672	江の島	3	5.7	3	5.7	11.4
2	松下	10192	大津	9	15.0	1	0.0	15.0
3	佐竹	10162	大津	7	13.0	2	3.0	16.0
4	藤田	10672	江の島	1	0.0	1 1	17.0	17.0
5	市川	10399	長浜	2	3.0	1 0	16.0	19.0
6	大竹	10489	三戸浜	5	10.0	8	14.0	24.0
7	武田	10722	材木座	1 1	17.0	4	8.0	25.0
8	本多	10726	わに北	6	11.7	9	15.0	26.7
9	難波	9806	三戸浜	4	8.0	1 7	23.0	31.0
10	柴田	10423	葉山	1 4	20.0	7	13.0	33.0
11	井上	8633	材木座	8	14.0	1 4	20.0	34.0
12	森口	9545	材木座	2 0	26.0	5	10.0	36.0
13	山下	9756	材木座	1 0	16.0	2 0	26.0	42.0
15	西	10857	材木座	1 7	23.0	1 5	21.0	44.0
18	手代木	10608	材木座	1 2	18.0	2 6	32.0	50.0
20	橋本	10757	材木座	2 4	30.0	1 6	22.0	52.0
21	岡崎	3782	逗子	1 9	25.0	2 4	30.0	55.0
24	奥山	2800	材木座	1 5	21.0	3 6	42.0	63.0
25	山県	3654	材木座	3 5	41.0	2 1	27.0	68.0
26	近藤	10048	材木座	2 3	29.0	3 4	40.0	69.0
27	上田	7785	葉山	2 6	32.0	3 2	38.0	70.0
32	山本	8990	材木座	3 4	40.0	2 9	35.0	75.0
33	高安	9091	逗子	4 2	48.0	2 2	28.0	76.0
36	柳橋	10385	葉山	3 8	44.0	3 3	39.0	83.0
41	杉浦	9821	材木座	5 0	56.0	3 5	41.0	97.0
43	佐藤	6362	材木座	4 9	55.0	3 9	45.0	100.0
44	設楽	1781	材木座	DSQ	92.0	6	11.7	103.7
45	大倉	5437	逗子	5 2	58.0	4 0	46.0	104.0
50	東道	8145	葉山	5 7	63.0	4 7	53.0	116.0
54	黒田	10248	葉山	5 5	61.0	5 6	62.0	123.0
55	千野	9960	葉山	6 1	67.0	5 0	56.0	123.0
64	奥野	10116	葉山	6 3	69.0	6 3	69.0	138.0
65	杉本	9823	逗子	6 6	72.0	6 1	67.0	139.0
66	石井	7774	逗子	5 8	64.0	7 2	78.0	142.0
67	井上	9853	材木座	6 9	75.0	6 2	68.0	143.0
69	鈴木	10531	葉山	6 8	74.0	6 5	71.0	145.0
70	常盤	10741	逗子	5 9	65.0	7 6	82.0	147.0
71	落合	10744	葉山	7 3	79.0	6 4	70.0	149.0
72	田中	10802	葉山	DSQ	92.0	5 4	60.0	152.0
75	藤森	9544	材木座	7 1	77.0	7 0	76.0	153.0
77	酒井	9181	葉山	7 5	81.0	7 7	83.0	164.0
80	大橋	10132	葉山	7 4	80.0	8 0	86.0	166.0
82	松田	10346	材木座	7 9	85.0	7 8	84.0	169.0

湘南チャンピオン サーキット第4戦

期 日 : 7月10日
レース海面: 逗子沖
風 向 速: 南 2~5m

アニマル勝利

総合 順位	氏名	No	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	井上	8633	材木座	②	3.0	②	3.0	6.0
2	山下	9756	材木座	①	0.0	6	11.7	11.7
3	手代木	10608	材木座	③	5.7	4	8.0	13.7
4	設楽	1781	材木座	9	15.0	①	0.0	15.0
5	田中	10802	葉山	7	13.0	③	5.7	18.7
6	武田	10722	材木座	6	11.7	5	10.0	21.7
7	柴田	10423	葉山	5	10.0	7	13.0	23.0
8	岡崎	3782	逗子	4	8.0	1 3	19.0	27.0
9	西	10857	材木座	1 0	16.0	8	14.0	30.0
10	橋本	10757	材木座	1 2	18.0	9	15.0	33.0
11	宮腰	9605	逗子	1 7	23.0	1 0	16.0	39.0
12	奥山	2800	材木座	1 3	19.0	1 5	21.0	40.0
13	山本	8990	材木座	1 9	25.0	1 1	17.0	42.0
14	大倉	5437	逗子	1 5	21.0	1 6	22.0	43.0
15	柳橋	10385	葉山	8	14.0	2 3	29.0	43.0
16	繁田	6375	材木座	1 8	24.0	1 4	20.0	44.0
17	森口	9545	材木座	1 4	20.0	1 8	24.0	44.0
18	東道	8145	葉山	1 1	17.0	2 1	27.0	44.0
19	近藤	10048	材木座	2 4	30.0	1 2	18.0	48.0
20	村岡	10397	逗子	1 6	22.0	2 2	28.0	50.0
21	杉本	9823	逗子	2 2	28.0	1 7	23.0	51.0
22	蓮沼	3690	材木座	2 3	29.0	2 0	26.0	55.0
23	黒田	10248	葉山	2 0	26.0	2 5	31.0	57.0
24	藤森	9544	材木座	2 1	27.0	2 6	32.0	59.0
25	井田	10747	逗子	3 0	36.0	1 9	25.0	61.0
26	常盤	10741	逗子	2 7	33.0	2 4	30.0	63.0
27	松田	10346	材木座	2 5	31.0	2 7	33.0	64.0
28	加山	9863	逗子	2 9	35.0	2 8	34.0	69.0
29	吉村	9118	逗子	2 6	32.0	3 1	37.0	69.0
30	大橋	10132	葉山	2 8	34.0	3 2	38.0	72.0
31	田川	8893	逗子	3 2	38.0	2 9	35.0	73.0
32	鈴木	10531	葉山	3 3	39.0	3 0	36.0	75.0
33	奥田	9677	逗子	3 1	37.0	3 3	39.0	76.0
34	奥野	10116	葉山	RET	41.0	DNS	41.0	82.0
3	杉浦	9821	材木座	COM		COM		
	南斎		葉山	COM		COM		

Race Schedule

7月24日 銚子オープンレース(銚子)
 7月30.31日 ディンギージャンボリー(河口湖)
 8月14日 湘南チャンピオンサーキット第5戦(葉山)
 運営委員長: 橋本 重一
 8月21日 北関東選手権(霞ヶ浦)
 9月11日 湘南チャンピオンサーキット第6戦(葉山)
 運営委員長: 未定
 10月8~10日 全日本選手権(山口県光市)
 ☆北関東選手権(8/21)
 前日の宿泊は森口選手の実家を予定

スタートライン上の闘い(2)

text by Major Hall

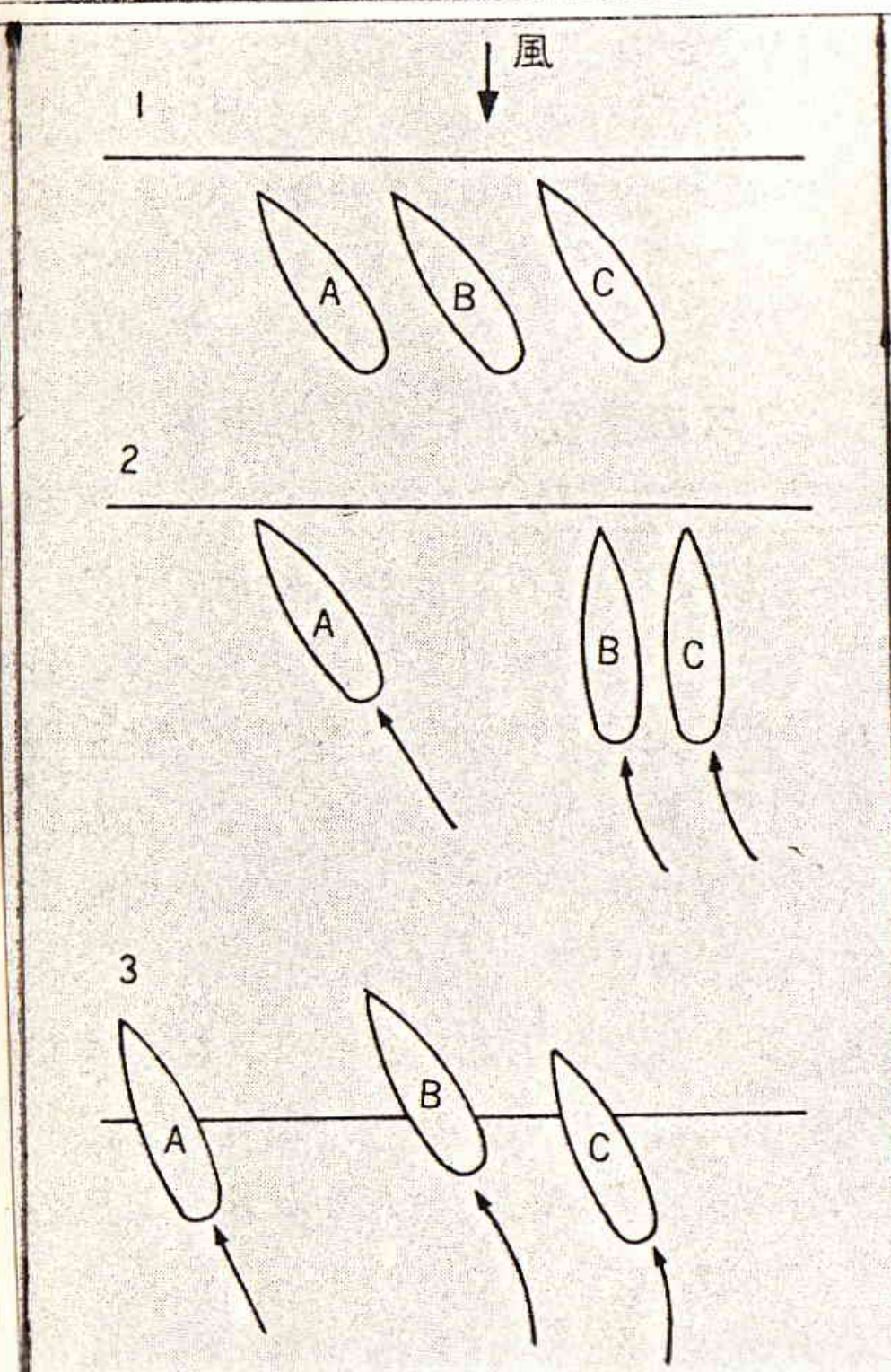


Fig.1 : レースにおける最も重要な戦略の1つ、風下側にルームをとるテクニック。1では、3艇のヨットは接近してかたまっており、BはAから、またCはBからのバック・ウィンドを受けている。2ではBがCにラフイングし、その風下側に安全なルームを作っている。3では、Bはベアしてスピードをつけ、Aのバック・ウィンドからも、Cのブランケットからも逃れて、いいスタートを切っている。基本原理は、つまり、風上側の艇を攻撃し、風下側にできたスペースにベアすることである。しかし、風下側の艇も、私たちと同じことを考えているだろうということを忘れてはならない。

[ラインへはポートアプローチの方が有利である]

スタートライン上で割りこんでいける穴(スペース)を見つけてそこを攻撃するために、私たちには、2つの方法がある。

1つは、スターボードタックでラインを流してゆく方法である。これは、あまりに早くラインに並んでしまっている経験の浅い、弱い相手を探すというものである。そして、彼らのスターンを素早くかわして、ラフイングアップし(ただし、彼らがまだリーチングの状態にいるならば、彼らが風上に艇を向けてクローズの状態にいる時よりも、ゆっくりと行なう必要がある)、彼らを抑え、ラフイングによってできた風下側のルームにベアしてトップスピードまで加速し、スタート合図とともにラインを切ることができるように時機を見るのである。

2番目の方法は、ポートタックでラインを流して来て、私たちがラフして抑えようと思った艇の風下側へタックして割り込むのである。スターボードタックでのアプローチに比べて、このポートアプローチはラインが見やすく、どこに弱い敵と穴があるかが分かりやすいという利点がある。このアプローチが成功するかどうかの鍵となるのは、正しい位置にタッキングできるかどうかにある。

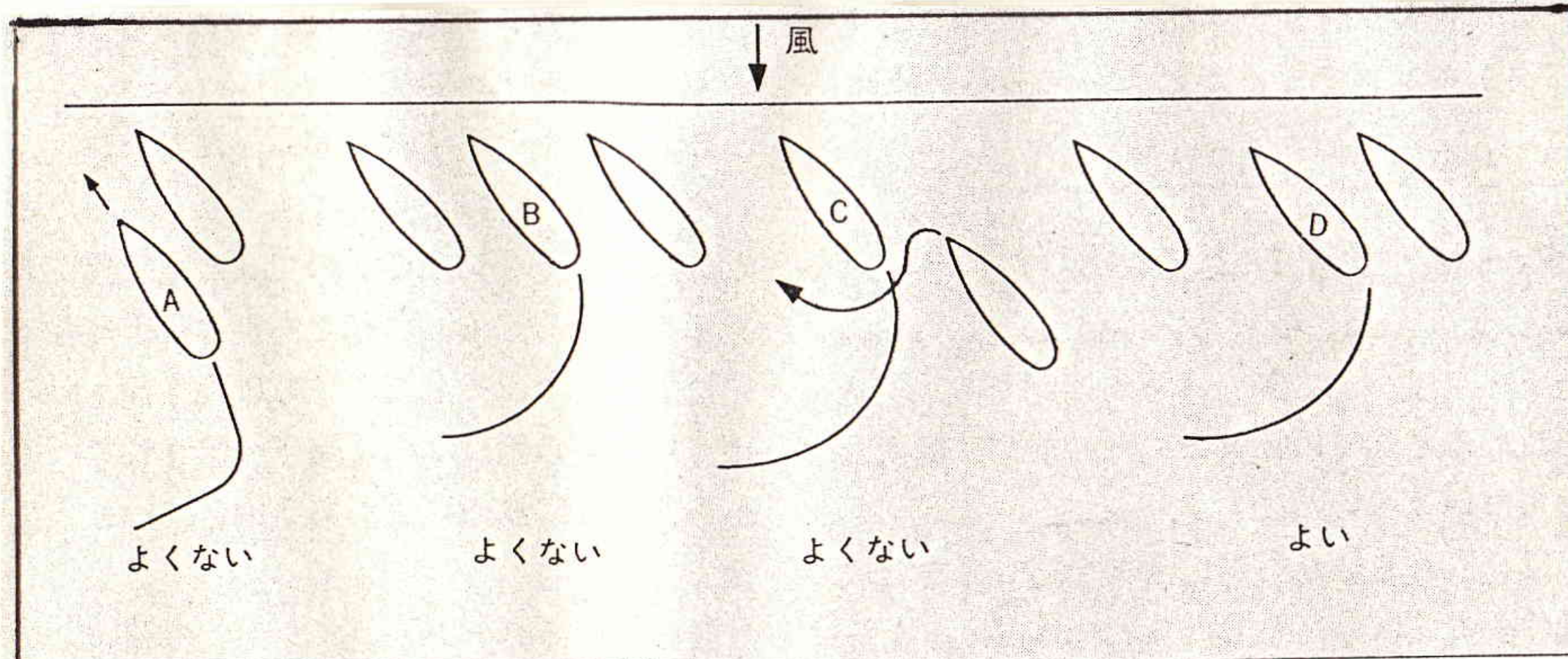


Fig.4 : ポート・タックでのアプローチ。ポート・タックでラインを流してアプローチすることの最大の利点は、ライン上の穴があいているか閉まっているか、よりはっきりと見ることができることである。スターボード・タックでアプローチすると、私たちはしばしば早過ぎる決断をし、私たちの選んだスペースにより長く縛られてしまう。もちろん、どちらのアプローチでも、穴に割りこんだ後、そこから出ることは、難しいけれどもできないことではない。しかし、ポート・アプローチでは、私たちはその穴

をしっかりと確認するチャンスがあるので、逃げ出さねばなくなる可能性は少ない。図では、Aは、あまりに後方でタックしているのに、風上艇のブランケットを通過しなければならなくなっている。Bは、風下側にルームをとるために、その穴のもっと風上寄りへタックすべきであった。Cは、風上艇のあまり前方へタックしたため、風上艇の逃げ余地を作ってしまった。Dは、風上艇を抑え、しかも自艇の風下側に十分なルームをとれる完璧なポジションにタックしている。

「一年間をふりかえって」

No.10048 近藤 和也

「君、いい体格してるネエ。材木座フリートに入らない?」。今思えば一年前、初めて橋本さんに会ったあの時こそが、僕のヨット人生を決定づける運命的な出会いだったにちがいません。

そもそもヨットを始めたのは、ほとんどミーハーな理由以外のなにものでもありませんでした。初めて乗せてもらったクルーザーに感激し、いつかは自分もと思い、秘かに機会を伺っていたのです。そんなある日、本屋で「舵」誌を発見し、「今から始めれば、夏迄には一人で乗れる様になります。」という、海王の甘い広告にのせられて店を訪ねる事となりました。そこでたまたま居合わせた橋本さんに誘われ、「しめしめ、タダでヨットを教えてもらえる」と甘い考えで材木座フリートに入る事にしました。

初めてヨットに乗った時、「何てハードな乗り物なんだ。船は重いしギソウは面倒、おまけにハイクアウトなんかしたらすぐ足腰が痛くなる。とんでもない物を買ってしまった、まだローンは2年も残っているのに…」というのが最初の感想でした。それでも買ってしまっただけにはやるしかにやいと意を決し、週1回は海へ行く様にして何とか一人で乗れる様になりました。そこでいよいよ初レースということになりますが、結果はもちろん最下位でした。とりあえず完走できた事にホッとしましたが、次にはやっぱり悔しくて、今度は何とか人より速く走りたいと思いました。もともと、負けず嫌いで熱中しやすい性格、すっかり巨人の星気分毎週土日、練習に練習を重ねるようになりました。

今年に入って、東日本選手権を初めとし各種のオープンレースに参加しましたが、成績はまだ満足出来るものではありません。それでも、一年前に始めた頃の事を考えると、良く頑張ったなあと自分では思っています。

材木座フリートに入り、ヨットを通じていろんな人と出会い、今とても青春しています。「材木座を制する者は関東を制する」と信じ、全日本、国体を目指しこれからも練習を続けて行きたいと思っています。

[次号は葉山Fサブキャプテン奥野選手の予定です]



中部選手権(浜名湖)に遠征した材木座・葉山F(7/3)

☆がんばれ・ローリー!!!

ローリー杉浦選手が、ヨーロッパアルプス最高峰のモンブラン(4807m)にフランス側より挑戦します。高所順応訓練も順調に進んでいるとのこと、7月30日に日本を出発、8月11日帰国の予定です。ちなみに費用は50万。オレも行きたい!!

[住所変更]

☆池田 正弘 [結婚(10月)・新居]

〒241 横浜市旭区笹野台

[海外出張]

☆山本 敏雄

7月21日~10月末 (アメリカ)

[住所録追加]

☆繁田 裕輔 No.6375 海月荘

〒181 三鷹市下連雀

NEWS

SeaHopper'88.8
Zaimokuza Fleet

湘南チャンピオン サーキット第5戦

期 日 : 8月14日
レース海面: 逗子沖
風 速 : 2 ~ 4 m
風 向 : 195° ~ 210°

総合 順位	氏名	No.	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	設楽	1781	材木座	4	8.0	①	0.0	8.0
2	手代木	10608	材木座	②	3.0	③	5.7	8.7
3	山下	9756	材木座	①	0.0	5	10.0	10.0
4	井上	8633	材木座	③	5.7	7	13.0	18.7
5	大竹	10489	三戸浜	7	13.0	4	8.0	21.0
6	武田	10722	材木座	5	10.0	8	14.0	24.0
7	柴田	10423	葉山	10	16.0	6	11.7	27.7
8	田中	10802	葉山	6	11.7	11	17.0	28.7
9	大倉	5437	逗子	8	14.0	15	21.0	35.0
10	岡崎	3782	逗子	13	19.0	12	18.0	37.0
11	常盤	10741	逗子	16	22.0	10	16.0	38.0
12	鈴木	10531	葉山	14	20.0	13	19.0	39.0
13	坂井	10964	長浜	DNS	37.0	②	3.0	40.0
14	西	10857	材木座	9	15.0	21	27.0	42.0
15	河合	10313	葉山	11	17.0	22	28.0	45.0
16	繁田	6375	材木座	17	23.0	17	23.0	46.0
17	小林	8119	材木座	18	24.0	18	24.0	48.0
18	中嶋	10755	材木座	12	18.0	24	30.0	48.0
19	井田	10747	逗子	22	28.0	16	22.0	50.0
20	奥野	10116	葉山	15	21.0	23	29.0	50.0
21	近藤	10048	材木座	20	26.0	19	25.0	51.0
22	難波	9806	三戸浜	DNS	37.0	9	15.0	52.0
23	蓮沼	3690	材木座	DNS	37.0	14	20.0	57.0
24	川鍋	8573	河口湖	19	25.0	27	33.0	58.0
25	落合	10744	葉山	21	27.0	26	32.0	59.0
26	沼川	10641	材木座	23	29.0	25	31.0	60.0
27	杉本	10883	逗子	DNS	37.0	20	26.0	63.0
28	奥田	9677	逗子	25	31.0	28	34.0	65.0
29	加山	9863	逗子	24	30.0	29	35.0	65.0
30	小泉	10336	逗子	26	32.0	30	36.0	68.0
3	橋本	10757	材木座	COM		COM		
3	松田	10346	材木座	COM		COM		
	清水		材木座	COM		COM		

【トップ艇所用時間 第1R: 69分 第2R: 66分】

【会計報告】

(収入)

エントリーフィ (500円×31人) 15,500

[M・H 1艇含む] ¥15,500

(支出)

運営船ガソリン・オイル 3,560

飲み物代 2,890

¥6,450

日本シーホッパー協会・湘南合同レース委員会

プレ国体(ゴールドカップ) 【実施要項】

期 日 9月22日～25日

会 場 北海道江差町

大会日程

9月22日 計測・開会式

9月23日 第1回戦

第2回戦

9月24日 第3回戦

第4回戦

9月25日 第5回戦

閉会式

☆参加選手に対する援助

①出場艇の運搬無料

関東地区集艇後から現地までの往復

②出場経費30,000円の援助

☆出 場 経 費(レースに専念した場合)

羽田～函館 航空料金往復 35,400

(団体割引)

函館～江差 バス料金往復 4,000

宿泊代 (6,500円×3) 19,500

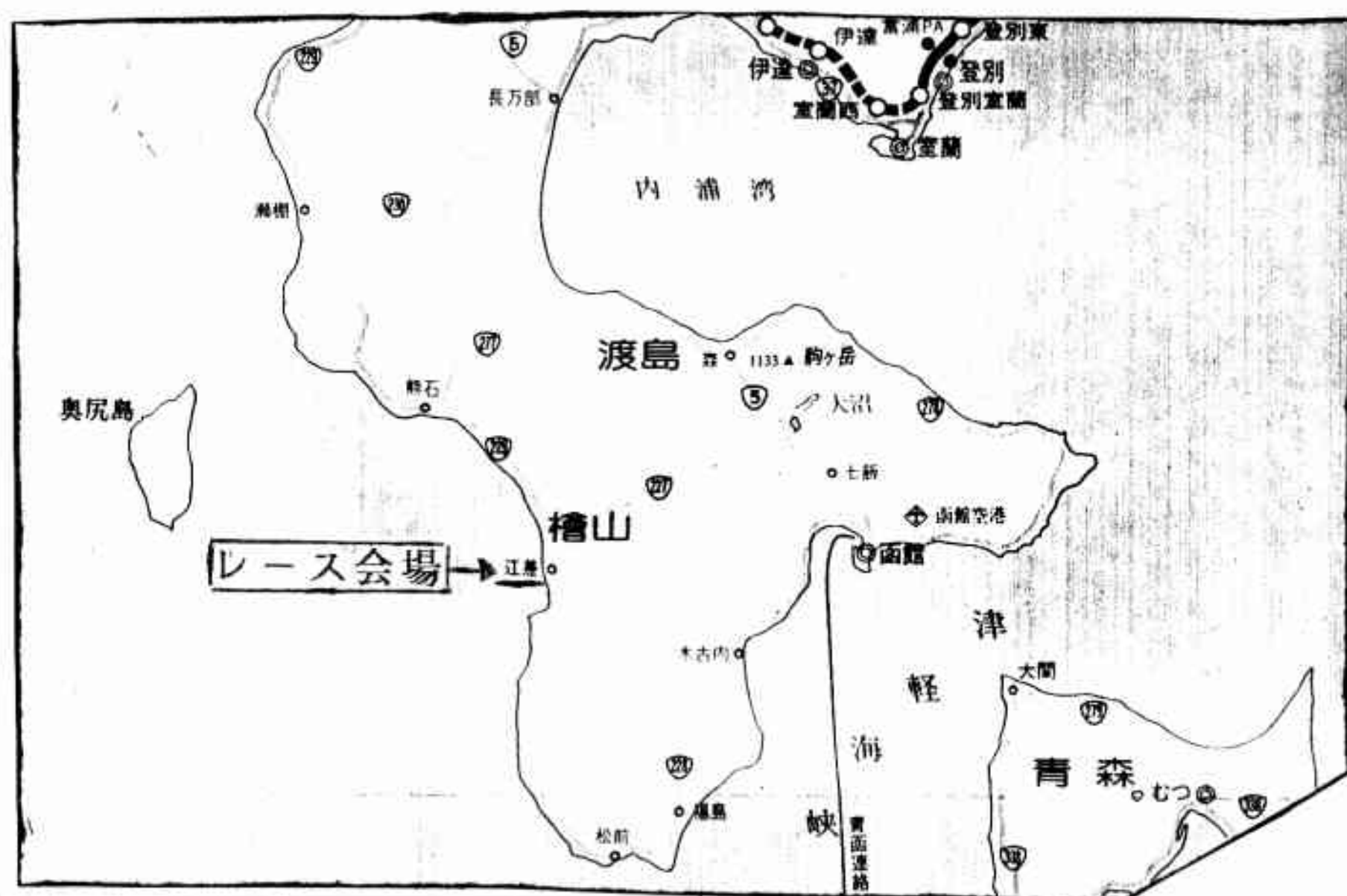
エントリーフィ 12,000

70,900

- 30,000

¥40,900

※出場希望の選手は8/24までに橋本まで連絡下さい。



Race Schedule

8月21日 北関東選手権(霞ヶ浦)

8月28日 マスターズ選手権(浜名湖)

9月11日 湘南チャンピオンサーキット第6戦(葉山)

運営委員長: 井上 信勝

9月22～25日 プレ国体[ゴールドカップ](北海道江差)

10月2日 湘南チャンピオンサーキット第7戦(葉山)

運営委員長: 未 定

10月8～10日 全日本選手権(山口県光)

【スタートライン上での駆け引き】

スタートライン上の闘いは双刃の剣である。一方の敵を攻めると同時に、第2の敵の攻撃に備えなければならない。それでは、もしも私たちが、今まで述べてきた攻撃法の受け手の側にいたとしたら、一体どうしたらいいのだろうか。

初めに、どこを見たらいいのか知っておかねばならない。私たちの最もおそろしい敵は、後方、もしくは、風下側から来るのだ。ポートタックでラインを上って来る艇があったら、彼らの動きを注意深く見張っておかねばならない。そして、もしも彼らが明らかに割り込める穴を探しているようなら、少し艇を落してさえぎるようになるか、もしくはセイルを目いっぱい出し、私たちの確保しているルームが実際よりも、狭いと思わせるようにしなければならない。

また、スターボードタックでラインを下って来る艇も、肩越しに見張ることを忘れてはならない。と同時に、私たちの風上側の艇と繰り返している闘いにも目を向けておかねばならない。

時には、私たちの保持していたルームが次第にせばまってきたり、他艇から攻撃を受けたりしてラインから離れ、何艇かのスターンをかすめてラインを下り、他の場所を急襲することもある。この戦法を用いることは、スタートまであまり時間が残されていない場合は危険である。たとえ私たちのルームが狭くなって敵の攻撃をかわしきれなくなっても、パニックにおちいってはならない。その時は、なるべく早くその攻撃を見抜き、風上へ動くのだ。

これは、たとえすべてがフイになり、スタート前にホープレスに抑えられても、私たちにはまだ悪くないスタートを切ることでできる可能性があることを示している。もし、私たちがしんぼう強く風上側に位置を占め、そして、さらに風上側へ動けるならば、風下側の艇は次第に風下へ流されていくはずだからだ。

最後に、スタートライン上での闘いで私たちが勝利を納めるもう1つの重要な要素——他艇に勝つてマヌーバリングできる「腕」——がある。というのは、素早くタックができたり、そのポジションを長く保ったり、あるいは素早く加速できるセイラーは、そうでない敵に接近した場合には非常に有利だ、ということである。

Race Result

☆犬若オープンレース (銚子沖)

7月24日 風速: 8~13m

(シングルクラス)

①橋本 ②武田 ③井上(信) ④近藤 ⑤設楽

主催側からの招待を受けて材木座5選手が銚子に遠征。10m以上のシフトの激しいブローが吹き荒れるレースコンディションとなり、レスキューが必要な艇が出たため大会は1レースで終了。沈の回数が少ない順にフィニッシュとなる。

☆ディンギージャンボリー (河口湖)

7月30・31日 風速: 1~3m

(シングルクラス)

②井上(信) 7.柳橋 12.黒田 19.奥野 20.鈴木

25.近藤 27.山県 28.柴田 29.橋本 30.東道

33.武田 36.田中 42.峰岸 44.小林 48.沢井

湖特有の微風下、ノルマ(優勝)を担った井上選手が、前夜、宿での集中力トレーニング(肉弾戦100円玉争奪うすのろまぬけ)の疲れにもめげず、1-4で優勝は逃したが2位に入賞。さすがアニマルでした。

「お〜い葉山Fのメンバーはどこだ〜

フリートハウスはどこにあるんだよ〜」

約1年前、Y S Aのフリートメンバーに加入した年の冬の出来事でした。

真冬の海で1人、又は僕の相棒と2人だけで練習するのは寂しいものがありました。思えばその時からでした、これはもうやるしかない!! 葉山Fをもっと活動化させるんだと。

初めのころはレースに出ても、やはり後の方に近く、トップフィニッシュの人が雲の上の人に見えました。しかし、意地でも上位に入ってやるぞ(下がりようもなかったが)と、そして早く材木座Fにも近づくんだと思いながら練習してきました。それがいつしかレース活動をしていこうというメンバーが増えていき、1年中海に出て練習する人が今では10人を越えるようになりました。そして北へでも南でも、レースのために遠征にも行けるようになったのは、あの時を思い出すと、あ〜ここまできたんだな〜と、ついうれしくなってしまう。

葉山Fのこれからとしては、レースで上位を取ることもそうですが、コミッティーの知識や練習の仕方など、全体としての物をがんばっていきたいと思っています。僕自身も葉山Fサブキャプテンとして今以上にがんばるつもりです。何かと材木座Fの方にも面倒をかける事もありますが、早く一人前のフリートになりたく思っています。そして目標はあくまでも「SH最強軍団」けっして宴会フリートではありません。あしからず!!

それでは又、海の上で会いましょう。

【次号は材木座Fの重臣、サブキャプテン・アニマル井上選手の予定です】

新戦力紹介

No.6375 繁田 祐輔

山本先輩からすすめられて7月から仲間入りさせていただく事になりました。ヨット歴は3年弱で、900日程海に出ていたと思います。なにせ、ここ10年間はヨットとは縁がなかったもので、ほとんど覚えていませんが、ただ、朝ギソウをすると条件反射で胃が痛みます。

シーホッパーは初めてなので、今年はおとなしくして、来年あたりから本格的に始めようかと考えています。

※山本選手とは唐津東高時代インターハイ・スナイプ級3位を獲得した時のコンビだそうです。

【第4戦・会計報告】(7/10)

(収入)

エントリーフィ 52,500
¥52,500

(支出)

運営船ガソリン、オイル 5,100
海岸パーティ(おにぎり、ビール) 16,800
雑費 1,046
賞品(1~3位) 6,040
¥28,986

※参加賞(シールドバッグ)は協会からの援助金による。

日本シーホッパー協会
湘南合同レース委員会

北 関 東 選 手 権

期 日 : 8月21日

レース会場: 霞ヶ浦

風 速 : 2 → 9 m

山 下 初 優 勝

①.山 下	No.9756	材木座	③-②	8.7
②.設 楽	No.1781	材木座	①-7	13.0
③.大 竹	No.10489	三戸浜	4-③	13.7
④.市 川	No.10399	長 浜	②-6	14.7
⑤.森 口	No.10871	材木座	10-①	16.0
⑥.岡 崎	No.3782	逗 子	7-11	30.0
7.手代木	材木座	30.7	13.大 倉	逗 子 39.0
14.柴 田	葉 山	42.0	15.橋 本	材木座 42.0
18.武 田	材木座	44.0	20.西	材木座 52.0
21.奥 野	葉 山	56.0	22.東 道	葉 山 57.0
24.落 合	葉 山	60.0	26.田 中	葉 山 65.0
27.柳 橋	葉 山	65.0	30.杉 本	逗 子 74.0
33.黒 田	葉 山	78.0	37.鈴 木	葉 山 82.0
42.小 迫	葉 山	93.0	44.近 藤	材木座 95.0

(エントリー45艇)

第14回シーホッパー級 全日本選手権大会

開催日

昭和63年10月8日・9日・10日

開催場所

山口県光市室積海岸

大会日程

10月8日(土)	13:00~15:00	トライアルレース
	16:00~17:00	会員総会
10月9日(日)	9:00	エントリー締切
	9:00~	開会式・艇長会議
	11:00~	第1レース
		第2レース
	18:00~20:00	パーティ
10月10日(月)	8:00~	第3レース
		第4レース
	14:00~	表彰式・閉会式

[材木座F遠征日程]

10月7日(金)	9:00頃	鎌倉発
	19:00頃	福山着・三島邸宿泊
10月8日(土)	6:00頃	福山発
	11:00頃	光着
10月10日(月)	15:00頃	光発
	20:00頃	福山着・三島邸宿泊
10月11日(火)	9:00頃	福山発
	19:00頃	鎌倉着

['88年材木座全日本軍団]

橋本・井上(信)・手代木・山下・森口・設楽・杉浦・武田

Learning From Experience

(レース経験から学ぶ)

text by Steve Benjamin

戦術的なレースの知識や能力は、主にレース経験を通して培われる。したがって、今回は、タクティクスを必要とする状況から何を学べばレース成績を向上させられるか、ということに焦点を当てて述べてみたい。この場合、タクティクスとは、純粹に他艇の存在によって必要となってくるレースの駆引き、と定義するべきであろう。

【上りのレグ】

上りのレグに対するタクティクスには、目的が2つある。どちらのタックにしたいと思ったにしてもクリーンエアーを確保すること、それに、他艇のグループに対する攻撃または防御だ。

クリーンエアーを維持するためにとるべき最も基本的なタクティクスは、いつタッキングすべきかを決める、というものだ。誰も悪いエアーの中にタックしたいと思わないから、これは明らかに道理にかなっている。が、この間違いを犯しているセイラーがいかに多いことか！時には、2艇が同時にタックしたため(シフトのため)、後ろになった艇が2重の危険にさらされることもある。彼は再び落とされるシフトにタックし直すか、悪いエアーに続けるしかないのだ。それより、彼は先を行く艇がタックすることを予測し、少し早めにタックするか、または前の艇の風上側に何がなんでもタックするべきだったのだ。

競争相手がグループになり、それを相手に走るとなると、タクティクスはさらに複雑になってくる。まず初めに、自分が経験したレースの内、自分が集団のどちらかにいたためにダメージを受けたレースがどのくらいあり、それがどういう状況だったか、ふり返ってみよう。

集団の不利なサイドにいたために、艇速を伸ばしたり、ピンチアップしたり、またはタックする自由をせまられるばかりでなく、艇の集団に風がぶつかるために風速が落ちることさえあるのである。したがって、ここではまず、風がどちらから来そうかという判断の下に、グループのどちらか一方の側にポジションを求めるのがベストだろう。もちろん、リフト(上れる風)が予想されれば風上側のポジションをとり、ヘッダー(落とされる風)が予想されれば風下側のポジションをとるべきである。

風下側のポジションをとり、予測した道りシフトが来た場合には、タックして利益をさらに強化する。これは、逆のタックの他艇(複数)の前(またはすぐ後ろ)を横切れればいいのである。また逆に、風上側のポジションをとり、予測した通りリフトが来た場合には、少し風下側に落とし気味にして艇速をつけ、集団の前方の風上ポジションを得ることで利益は強化される。このタクティクスは、その後でヘッダーが来た時の弱点もカバーしてくれる。

【次号はレイラインと風上マークの回航です】

Race Schedule

9月22~25日	プレ国体[ゴールドカップ](北海道江差)
10月8~10日	全日本選手権(山口県光)
10月23日	湘南チャンピオンサーキット第7戦(葉山)
	運営委員長: 井上 信勝
11月13日	湘南チャンピオンサーキット第8戦(葉山)
12月4日	湘南チャンピオンサーキット最終戦(葉山)
12月11日	湘南サーキット総合表彰式・パーティ
	(逗子マリーナ)

※サーキット第6戦はレースコンディション悪化が予想されましたので中止としました。

新戦力紹介

☆No.10050 栗村 卓家☆

ヨット歴は大学時代より足掛12年です。

ほとんど大型クルーザーのクルーをしていましたが、ある日、自分自身がゴルフのキャディーさんをやっているような気がして、シーホッパーに転向しました。レースでは、試合をするのではなく、ゲームを楽しむつもりでやりたいと思います。

※—※—※—※—※—※—※—※

☆ No.10995 佐藤 弘☆

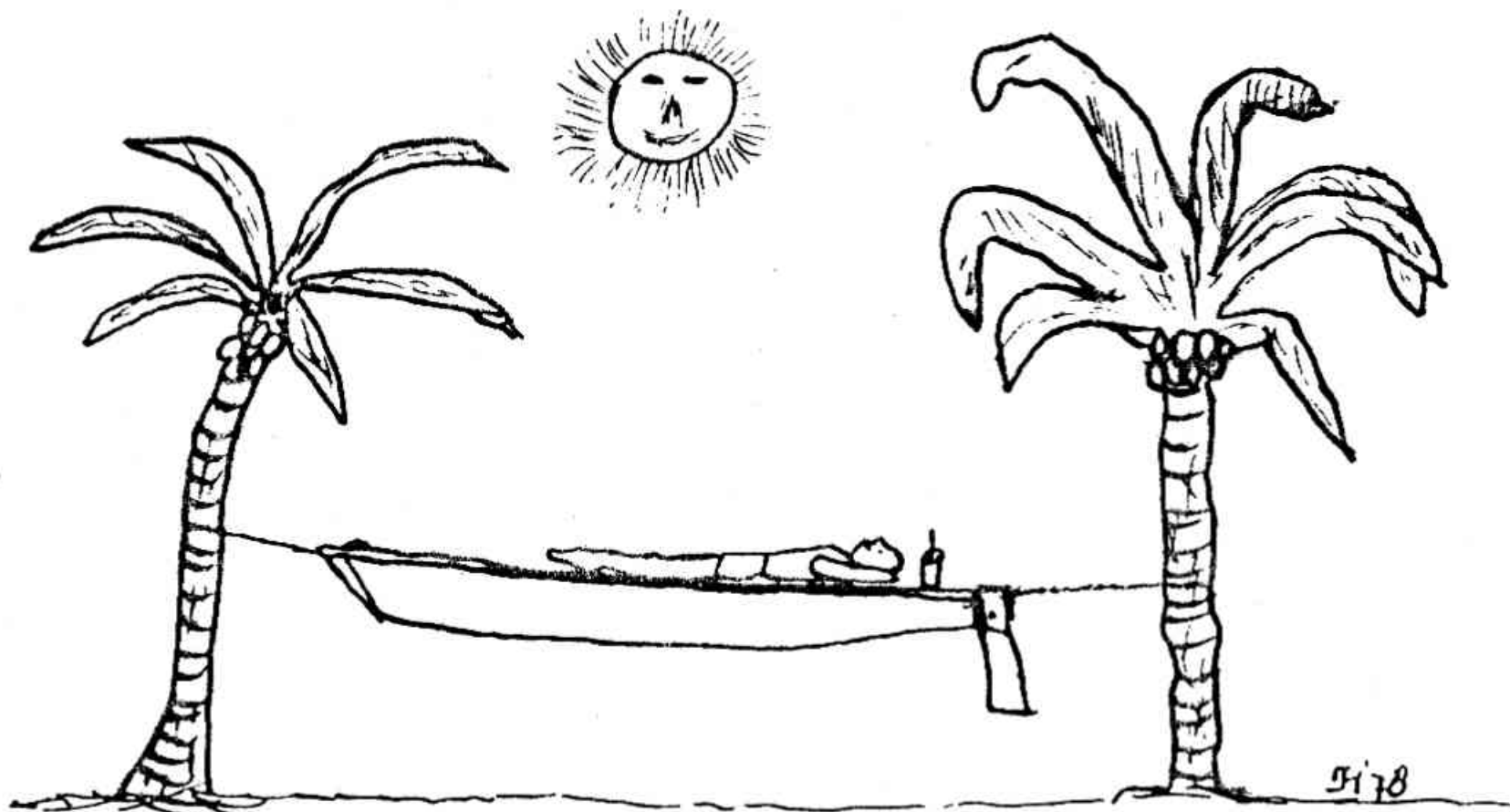
この度、舵9月号の告知欄を見てこちらのフリートにお仲間入りさせていただくことになりました。ヨット歴と申ししても高校時代FJ、社会人になってシーホースといたしましたが、それも10数年も前のことです。今では体力も知識も素人同然です。以前からシーホッパーに乗りたと思っていましたが、なかなか切っ掛けがなく出来なかったのが、今回、運良く実現することが出来て大変嬉しく思っています。皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかも知れませんが、ご指導の程よろしくお願いいたします。

※—※—※—※—※—※—※—※

☆No.5418 高木 匠☆

この9月よりお世話になります。

ヨットは今年から乗り始めたので、とても新戦力などとは呼べないのですが、2年ぐらいの内には、せめて足手まといにならないように致しますので、よろしくお願い致します。



88夏の海総決算

人出減っても犠牲者増

県警署は二十九日、今年七月十日から八月二十八日まで五十日間の県内主要三十七海水浴場での人出、水難事故の警戒取り締まり結果をまとめたが、人出は長雨の異常気象で、五百六十三万五千人と昨年より三百六十七万九千人も減ったのに水難事故による死者、不明者は二十五人と六人も増えて暗いシーズンとなった。

県警は期間中、海水浴場を抱える十一署に海水浴場警戒取締本部を設置、延べ四千五百人の警察官を動員した。水泳未熟五人など無謀遊泳が目立った。

対策本部の集計では、シーズン中の天候は晴れの日が十六日間、昨日シーズンに比べ六日間、逆に雨の日は十三日間、一日も多かった。人出が減少した中で事故の多発に、同本部は「異常気象が災いして無謀遊泳をしたためでは」と分析している。

また、海水浴場での出店荒らしや置き引きなどの犯罪、非行の検挙者は三十三人で、七人増えた。

『山中湖恐怖の体験記』

No.8633 井上 信勝

こんばんは アニマル井上です。私がヨットを始めたころの恐ろしい体験記を話したいと思います。この話は実話で、気の弱い人は読まないで下さい。もう海には恐ろしくて出れなくなります。

それは3年前の9月でした。私がヨットを始めて半年ぐらいで、まだ材木座Fに入る以前で、カートップで海や湖にセイリングに行っていた時の事件です。カートップのため2人で行かなければならず、その時は会社の同僚のTさん(2.3度いっしょにヨットに行っていた)と山中湖に行きました。

その時は、風速が6~8mと初心者にとっては怖いという風で、くもり空で湖の水は冷たかったです。しかし、9月だということにみように風がゆるまった感じがしました。

ギソウが終わり、出艇するころに小雨がふってきました。初め30分ぐらいTさんがスキッパーをし、セイリングを楽しんでいました。そして私に交替し、10分ぐらいたった時のことです。Tさんが突然、恐ろしい動物のようなうめき声を出し、前のめりに、うずくまっているのではないですか。次の瞬間Tさんは、自分から吸い込まれるように湖へ落水しました。私はその時、何が起ったのかかわからず、初めは冗談だと思い、この冷たい水の中で泳ぐなんて何考えているのかと思いました。そして、落水したTさんを振り返って見ますと、ライジャケを着ていたため浮いてはいませんが、湖面に頭をつっこんだまま、死んだように動かないではないですか。そのまま15.30秒とたち、これは大変なことが起っているのだと顔が青ざめる思いでした。この間、船は流されTさんより30mほど離れてしまいました。それからTさんの所まで死にものぐるいで泳いで行きました。泳いでいる間、Tさんが死んでしまうという思いでいっぱいでした。やっとのことでTさんの所にたどりつき、髪をつかみ、顔を水面から上げました。その時Tさんは、死んだようにぐったりしていました。船は流されていました。私は大声で「たすけてくれ〜」とさけんでいました。それから何分たったかわかりませんが、近くで釣りをしていたボートが近づいてきてくれました。そして、Tさんをボートに引き上げようとしても、足に藻でもからんでいるのか、引き上げることができません。しかたなく、私がボートのヘリにつかまり、Tさんをかかえたまま岸まで引いてもらいました。15分位でやっと岸につき、ボートの人に救急車を呼んでもらうよう頼みました。Tさんを陸に上げ、顔を2・3度びんたしました。Tさんの顔をみると、顔はまっ青で、口からは泡をふいていました。恐ろしい形相でした。しばらくして、Tさんの腕が動きました。「ア〜たすかった」という思いでいっぱいでした。

その後、すぐ救急車がきて病院へ向かいました。車の中でTさんは、少しずつ意識を取りもどしてきましたが、霊に乗りうつられているかのように、わけのわからないことを口ばしっていました。頭がおかしくなったのではないかと思えました。病院で聞いたことには、1ヶ月前にヨットで同じように1人死んでいるという話を聞きました。その人は、ライジャケを着てなく、湖の藻にからまって水中に沈んでいたそうです。もしライジャケを着ていなかったら、Tさんは死んでいたと思います。ライジャケの偉大さを痛感しました。そして、もし海でこんなことが起きたとしたら2人はどうなっていたか、恐ろしさがこみ上げてきました。

1時間ほどで、Tさんの意識はなにもなかったかのように回復しました。そして私が、何が起ったのかTさんに聞いてみても、Tさんは何もおぼえてなく、ただ急に胸がしめつけられる思いがあったという記憶しかないということでした。

海・山・湖どこにでも霊はいます。あなたも霊に乗りうつらないよう気をつけてヨットを楽しんで下さい。

その後、1ヶ月ほどしてわかったことですが、Tさんはてんかん持ちだったそうです。

あ〜こりやまいった!! 終

【次号は逗子Fのエース・ワイルド岡崎選手の予定です】

NEWS

SeaHopper 88.10 Zaimokuza Fleet

第14回シーホッパー級全日本選手権大会



あ〜こりやまいった!



三島選手と久々に再会(福山にて)

順位	選手No.	スキッパー	支部	フリート	1 R 確	得点	2 R 確	得点	累計	3 R 確	得点	累計	4 R 確	得点	累計	合計
1	10192	松下 隆一	関西	西国	12	12	3	3	5.7	23.7	3	3	6	6	11.7	41.1
2	10789	九富 潤一	関西	西国	15	14	2	2	3.0	23.0	6	6	8	8	14.0	48.7
3	10454	佐竹 新吾	関西	西国	3	3	7	7	13.0	18.7	9	9	15	15	21.0	54.7
4	10919	山本 悟	関西	西国	17	16	15	15	21.0	43.0	4	4	10	10	16.0	67.0
5	9969	沖原 志己	関西	西国	32	31	4	4	8.0	45.0	2	2	18	18	24.0	72.0
6	10823	渡辺 克	中部	中部	18	17	20	20	26.0	49.0	1	1	20	20	26.0	75.0
7	10150	中島 敏行	中部	中部	1	1	5	5	10.0	10.0	45	45	22	22	28.0	89.0
8	10151	中兵 藤賀	関西	西国	11	11	8	8	14.0	31.0	39	39	19	19	25.0	101.0
9	9122	蜂須 強	九州	九州	25	24	40	40	46.0	76.0	21	21	1	1	0.0	103.0
10	10444	中田 昭九	九州	九州	5	5	10	10	16.0	26.0	8	8	61	61	67.0	107.0
11	1044	黒田 武士	九州	九州	6	6	53	53	59.0	70.7	26	26	4	4	8.0	110.7
12	10720	岩本 宣昭	九州	九州	16	15	51	51	57.0	78.0	10	10	12	12	18.0	112.0
13	10809	岡本 敏昭	九州	九州	7	7	57	57	63.0	76.0	20	20	9	9	15.0	117.0
14	10897	箕浦 敏道	中部	中部	36	35	23	23	29.0	70.0	5	5	32	32	38.0	118.0
15	10628	中山 健一	中部	中部	34	33	14	14	20.0	59.0	28	28	25	25	31.0	124.0
16	10872	中山 有	中部	中部	RET	RET	13	13	19.0	110.0	7	7	13	3	5.7	128.7
17	10723	山本 健一	中部	中部	48	46	24	24	30.0	82.0	36	36	3	3	5.7	129.7
18	10822	岡本 有	中部	中部	43	42	21	21	27.0	75.0	19	19	28	28	34.0	134.0
19	10838	山本 幸三	中部	中部	23	22	42	42	48.0	76.0	30	30	17	17	23.0	135.0
20	1070	藤原 幹久	中部	中部	41	40	31	31	37.0	83.0	46	46	2	2	3.0	138.0
21	10256	高橋 達三	九州	九州	8	8	65	65	71.0	85.0	12	12	33	33	39.0	142.0
22	10770	鈴山 勝三	九州	九州	2	2	29	29	33.0	91.0	34	34	5	5	10.0	144.0
23	10154	長谷 吉	九州	九州	54	52	27	27	33.0	91.0	11	11	31	31	37.0	145.0
24	10021	土橋 哲	九州	九州	68	66	6	6	11.7	83.7	16	16	34	34	40.0	145.7
25	10452	松山 和興	九州	九州	38	37	37	37	43.0	86.0	37	37	11	11	17.0	146.0
26	10780	渡川 勲	中部	中部	20	19	12	12	18.0	43.0	DNF	DNF	14	14	20.0	154.0
27	9709	中村 和生	中部	中部	57	55	60	60	66.0	127.0	14	14	7	7	13.0	160.0
28	10726	本多 博紀	中部	中部	22	21	9	9	15.0	42.0	DNF	DNF	29	29	35.0	168.0
29	8591	小池 秀敏	中部	中部	59	57	22	22	28.0	91.0	25	25	42	42	48.0	170.0
30	10466	土居 敏政	中部	中部	10	10	63	63	69.0	85.0	38	38	38	38	44.0	173.0
31	10262	藤原 敬三	中部	中部	29	28	61	61	67.0	101.0	35	35	27	27	33.0	175.0
32	10834	三好 基宏	中部	中部	51	49	44	44	50.0	105.0	29	29	30	30	36.0	176.0
33	7837	橋本 重一	中部	中部	9	9	35	35	41.0	56.0	52	52	58	58	64.0	178.0
34	10757	橋本 孝	中部	中部	53	51	11	11	17.0	74.0	40	40	56	56	62.0	182.0
35	10046	石川 信和	中部	中部	13	13	64	64	70.0	89.0	32	32	50	50	56.0	183.0
36	10537	阪本 康夫	北海道	北海道	39	38	52	52	58.0	102.0	23	23	46	46	52.0	183.0
37	8987	鈴木 康	北海道	北海道	26	25	33	33	39.0	70.0	48	48	54	54	60.0	184.0
38	10871	森口 孝司	北海道	北海道	42	41	34	34	40.0	87.0	53	53	37	37	43.0	189.0
39	6427	藤沢 孝	北海道	北海道	46	45	45	45	51.0	102.0	13	13	64	64	70.0	191.0
40	1781	藤沢 孝	北海道	北海道	60	58	1	1	0.0	64.0	51	51	67	67	73.0	194.0
41	10011	相黒 崇	中部	中部	27	26	74	74	80.0	112.0	27	27	45	45	51.0	196.0
42	10411	相黒 崇	中部	中部	31	30	68	68	74.0	110.0	33	33	43	43	49.0	198.0
43	10777	岡部 明	中部	中部	37	36	36	36	42.0	84.0	DNF	DNF	21	21	27.0	202.0
44	10314	根岸 好雄	中部	中部	24	23	54	54	60.0	89.0	42	42	60	60	66.0	203.0
45	8897	土橋 重	中部	中部	19	18	56	56	62.0	86.0	DNF	DNF	23	23	29.0	206.0
46	9821	杉浦 幸	中部	中部	63	61	39	39	45.0	112.0	18	18	51	51	57.0	210.0
47	10629	高田 幸	中部	中部	40	39	67	67	73.0	118.0	60	59	26	26	32.0	215.0
48	2497	入江 裕	中部	中部	4	4	RET	RET	91.0	99.0	DNF	DNF	24	24	30.0	220.0
49	1563	舟尾 隆	中部	中部	14	DSQ	18	18	24.0	115.0	54	54	40	40	46.0	221.0
50	9607	島山 誠	中部	中部	45	44	59	59	65.0	115.0	24	24	71	71	77.0	222.0
51	10908	田中 誠	中部	中部	62	60	19	19	25.0	91.0	DNF	DNF	35	35	41.0	223.0
52	10329	相原 誠	中部	中部	56	55	62	62	68.0	159.0	15	15	39	39	45.0	225.0
53	10730	相玉 兼	中部	中部	80	78	66	66	72.0	156.0	17	17	41	41	47.0	226.0
54	9971	藤渡 伸	中部	中部	47	DSQ	25	25	31.0	122.0	DNF	DNF	16	16	22.0	235.0
55	10743	藤渡 司	中部	中部	72	70	28	28	76.0	152.0	22	22	49	49	55.0	235.0
56	9543	小水 正	中部	中部	28	27	72	72	78.0	111.0	55	55	59	59	65.0	237.0
57	8190	水谷 彰	中部	中部	73	72	41	41	47.0	138.0	43	43	47	47	53.0	240.0
58	4888	二宮 哲	中部	中部	30	29	38	38	44.0	79.0	59	59	66	66	72.0	242.0
59	10176	高尾 哲	中部	中部	49	47	71	71	77.0	130.0	57	57	44	44	50.0	243.0
60	10187	高尾 哲	中部	中部	35	34	74	74	80.0	120.0	58	58	53	53	59.0	243.0
61	8325	原田 宏	中部	中部	58	56	16	16	22.0	84.0	DNF	DNF	63	63	69.0	244.0
62	10056	関川 義	中部	中部	81	79	46	46	52.0	137.0	41	41	55	55	61.0	245.0
63	10180	津村 純	中部	中部	52	50	17	17	23.0	79.0	DNF	DNF	73	73	79.0	249.0
64	10798	前田 義	中部	中部	21	20	48	48	54.0	80.0	DNF	DNF	75	75	81.0	252.0
65	10108	中野 佐	中部	中部	65	63	43	43	49.0	118.0	44	44	79	79	85.0	253.0
66	10722	武田 清	中部	中部	44	43	69	69	75.0	124.0	DNF	DNF	36	36	42.0	257.0
67	10354	三山 由	中部	中部	61	59	47	47	53.0	118.0	DNF	DNF	48	48	54.0	263.0
68	9455	山古 泰	中部	中部	69	67	73	73	79.0	152.0	56	56	52	52	58.0	272.0
69	9748	山古 泰	中部	中部	78	76	50	50	56.0	138.0	61	60	62	62	68.0	272.0
70	10764	桂 潮	中部	中部	55	53	68	68	74.0	133.0	62	61	68	68	74.0	274.0
71	9745	梅田 幸	中部	中部	64	62	58	58	64.0	132.0	63	62	70	70	76.0	276.0
72	10800	山本 拓	中部	中部	67	65	49	49	55.0	126.0	DNF	DNF	57	57	63.0	280.0
73	9284	橋本 良	中部	中部	76	74	30	30	36.0	116.0	47	47	74	74	80.0	287.0
74	2360	野村 明	中部	中部	82	80	79	79	85.0	171.0	31	31	81	81	87.0	295.0
75	10132	大橋 生	中部	中部	75	73	78	78	84.0	163.0	50	50	76	76	82.0	301.0
76	10068	横山 邦	中部	中部	70	68	55	55	61.0	135.0	DNF	DNF	69	69	75.0	301.0
77	9695	三和 裕	中部	中部	50	48	70	70	76.0	130.0	DNF	DNF	77	77	83.0	304.0
78	10771	和田 裕	中部	中部	33	32	RET	RET	91.0	129.0	DNF	DNF	82	82	88.0	308.0
79	10640	佐藤 吉	中部	中部	74	72	76	76	82.0	160.0	DNF	DNF	65	65	71.0	322.0
80	10802	田中 亮	中部	中部	66	64	75	75	81.0	151.0	49	48	78	78	84.0	326.0
81	3579	三高 浩	中部	中部	71	69	75	75	81.0	166.0	DNF	DNF	72	72	78.0	335.0
82	9312	高橋 舟	中部	中部	79	77	77	77	83.0	166.0	DNC	DNC	91.0	91.0	348.0	348.0
83	10741	常盤 孝	中部	中部	77	75	RET	RET	91.0	172.0	DNF	DNF	80	80	86.0	349.0
84	7806	唐川 孝	中部	中部	83	81	DNF	DNF	91.0	178.0	DNF	DNF	83	83	89.0	358.0

会期 10月8・9・10日
会場 山口県光市室積海岸

杉浦選手(材)第3R
ポイント・スタボーのケース
ゴメンナサイのI旗申告により20%ペナ

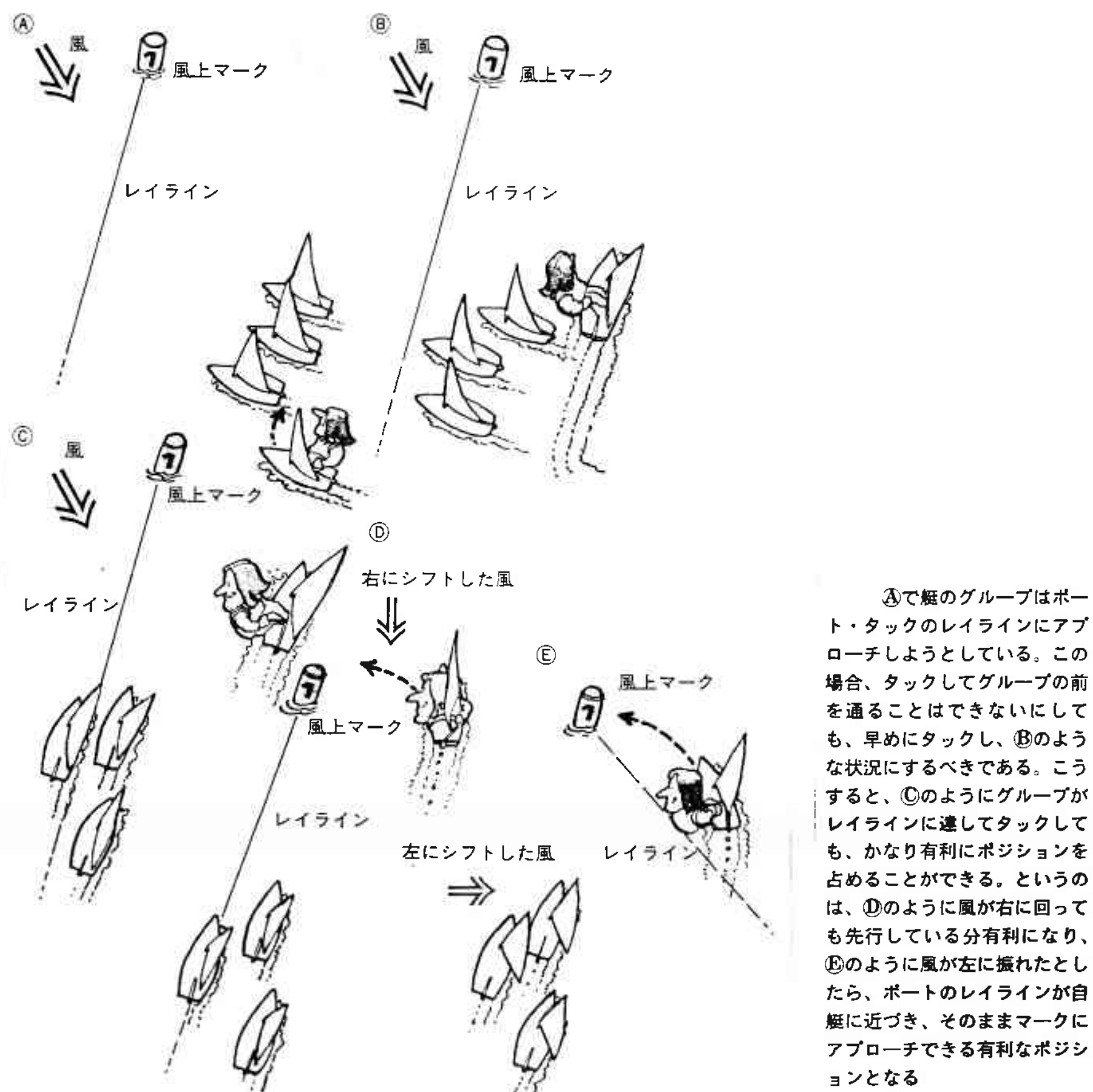
田中選手(葉)第3R
上・下のケース
両艇抗議なし。審判船、接触現認のため両艇50%ペナ

(会場検討中)

text by Steve Benjamin

【レイラインと風上マークの回航】

ひとつの良いタクティクスは、ポートタックのレイラインにアプローチしているスターボードタックのグループの風下側に自艇がいる場合に利用できるものだ。この場合、グループの前を横切ることはできなくても、彼らより先にタックして、新しいタックで風下側の安全なポジションを得て前に出ることができる。これは極めて有利な場所と言える。なぜなら風が右回りに変わればそのまま得するし、左回りに変われば行き過ぎずにマークを回れる可能性が出てくるからだ。



しかし、ポートタックでの風上マークへのアプローチには、2つの危険がともなう。まず最初は、もちろん、スターボードタックの艇には道をゆずらなければならず、特にフリートが大きい時には、マーク付近でタックできる穴が見つからないかもしれないということだ。2番目の危険は、先行して走って行く艇によって、自艇の受けるエアーがひどく乱される可能性があるということだ。私たちが遅れていればいるほど、これは問題になりやすい。これらのことを合わせると、ポートタックでのアプローチが大きな利益につながるのは、艇があまり混み合っていない、また有利なシフトの可能性のある時、ということになりそうだ。

スターボードタックのレイラインに関するタクティクスは、これもグループの外にとどまることに向けられる。グループは常に実際のレイラインに沿って進む。それを避けるには、2つの方法がある。レイラインを行き過ぎるか、またはレイラインからいくらか風下のところにタックする方法の2つだ。どちらのタクティクスも有効だが、約2艇身ほど行き過ぎる方は、風が良いことが予測される(右側からパフが来る)場合、フリートがひどく混み合っている場合、または特に強い海流がフリートを風下側に流している場合などは、効果的だろう。

しかし、一番役に立つと思われるのは、レイライングループの風下側からマークにアプローチするタクティクスだろう。グループは、マークからずっと離れたところから実際のレイライン上に集まると思われるので、彼らと平行に、そして何艇身か風下側を走れるチャンスがある。こうすることによって、私たちはより良い風とより乱されていない水を得ることができる。うまくいけば、そのためにレイライン上にある艇群より速く走れるし、したがって、マークの手前何艇身かのところで彼らの前にタックすることもできる。このタクティクスを使おうと思ったら、レイライン上の艇群によって乱された風の中を走らないように気を付ける。最も安全なポジションは、グループより15艇身以上風下側のところだ。

【次号はリーディングです】

逗子F 岡崎 利紀

こんにちは なぜなんだワイルド岡崎です。前回のアニマル選手の話も怖かったが、私の話がこれがまた怖い。それは先輩のAさんと友人のB君の3人相乗りで、エボシ岩まで海航しようとした時のことである。それまでよかった天気が一瞬にして荒天になり、風速は増す一方である。エボシ岩行きを中止して帰ろうとするが、強風と波で沈の連発。何回目の沈であろうか、いきよいよくマストトップから海面へ「ゴキッ」という音と共に艇は完沈「マストが折れた〜」Aさんは、恐怖にひきつった声で叫んだ。もちろん顔もくしゃくしゃで、おまけに鼻ミズもたれている。我々3人は窮地に追い込まれた。するとその時、遠くからモーターボートがこっちに向かってくるのが見えた「ああ助かった」と思いきや、徐々にコースがはずれてくる。やばいと思い、あらん限りの声と手振りで助けを求めた。運よく気づいてくれたらしく、近くまで来てくれた。艇長は「だいじょうぶか〜」と強風にかきけされないよう大声で叫んだ。するとAさんは何を思ったか「だいじょうぶだ〜」と大声で叫んだ。安心した艇長は勢いよく加速してモーターボートはあっという間に立ち去ってしまった。デスマストしているのにだいじょうぶなわけない。Aさんはパニック状態で相手にうまく自分の意志を伝えられないようである。我々はまた窮地に追い込まれた。しょうがない、パドルングでもバタ足でもとにかく自力で帰るしかない。とにかく艇をおこしてみよう「ヨッコラショ」と艇をおこすと、あらんことか、マストはちゃんと立っているではないか。折れていない。パニック状態のAさんは、海中のブームをマストと勘違いし、マストが直角に曲がっていると思ったような「あ〜こりゃあまいった」あきれかえったB君と私は、とっとと艇を着岸させ、3人事無きを得た。初心者B君には気の毒な体験をさせてしまったが、その後ヨットの腕を磨き、何度かオープンレースにも出場した。問題のAさんは、それ以後ヨットから足を洗いこの秋、結婚の予定である。Aさんお幸せに〜

以上「あ〜こりゃあまいった」シリーズ第2弾でした。【次号は材木座F・山下 健選手の予定です】

湘南チャンピオンサーキット ベスト30(第7戦まで)

順位	氏名	No.	FL	第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	第6戦	第7戦	総得点
				順位	戦	戦	順位	順位	戦	順位	1R CUT
1	手代木	10608	材	1			3	2		(5)	8.7
2	山下	9756	材	2			2	3		(4)	11.7
3	井上	8633	材	(DNC)	ノ	ノ	1	4	ノ	COM	13.7
3	設楽	1781	材	(9)	ノ	ノ	4	1	ノ	3	13.7
5	橋本	10757	材	6	レ	レ	(10)	COM	レ	1	17.4
6	武田	10722	材	COM	ノ	ノ	6	6	ノ	(DNC)	29.1
7	岡崎	3782	逗	4	ス	ス	8	(10)	ス	7	35.0
8	柴田	10423	葉	5			7	7		(13)	36.0
9	西	10857	材	(DNC)			9	14		14	55.0
10	奥野	10116	葉	7			(34)	20		11	56.0

11.大倉	5437	逗	56.0	12.近藤	10048	材	60.7
13.東道	8145	葉	61.0	14.柳橋	10870	材	64.0
15.中嶋	10755	材	64.0	16.杉浦	9821	材	66.7
17.田中	10802	材	69.0	18.鈴木	10531	材	70.0
19.松田	10346	材	71.7	20.蓮沼	3690	材	73.0
21.常盤	10741	逗	74.0	22.森口	10871	材	74.7
23.黒田	10248	葉	75.0	24.村岡	10397	逗	75.0
25.宮腰	9605	逗	80.0	26.杉本	10883	逗	82.0
27.井田	10747	逗	82.0	28.沼川	10641	材	82.7
29.山本	8990	材	85.0	30.大橋	10132	葉	87.0

COM: 3位の得点

DNC: 各戦の最下位得点プラス10点

葉山Fの南斎選手が念願の新艇、No.11111を手に入れました。進水式は10月30日です。また、三島選手(福山)も新艇(No.11025)に乗り換えたそうです。

湘南チャンピオン サーキット最終戦

☆栗村単発トップ

☆村岡 3 位入賞

期 日 : 12月4日
レース海面: 材木座沖
風 速 : 0~3m

総合 順位	氏名	No.	FLEET	1 順位	R 得点	2 順位	R 得点	総合 得点
1	橋本	10757	材木座	5	10.0	③	5.7	15.7
2	設楽	1781	材木座	1 1	17.0	①	0.0	17.0
3	村岡	10397	逗子	②	3.0	8	14.0	17.0
4	栗村	10050	材木座	①	0.0	1 8	24.0	24.0
5	東道	8145	葉山	6	11.7	7	13.0	24.7
6	山下	9756	材木座	9	15.0	6	11.7	26.7
7	武田	10722	材木座	③	5.7	2 0	26.0	31.7
8	大倉	5437	逗子	1 0	16.0	1 0	16.0	32.0
9	大橋	10132	葉山	7	13.0	1 3	19.0	32.0
10	奥野	10116	葉山	1 8	24.0	5	10.0	34.0
11	柳橋	10870	葉山	1 6	22.0	9	15.0	37.0
12	石川	7774	逗子	8	14.0	1 9	25.0	39.0
13	奥山	2800	材木座	4	8.0	2 7	33.0	41.0
14	岡崎	10436	逗子	DNS	39.0	②	3.0	42.0
15	鈴木	10531	葉山	1 7	23.0	1 4	20.0	43.0
16	手代木	10608	材木座	PMS	39.0	4	8.0	47.0
17	佐藤	10995	材木座	1 4	20.0	2 1	27.0	47.0
18	小迫	10902	葉山	1 3	19.0	2 3	29.0	48.0
19	宇賀	10227	逗子	1 2	18.0	2 5	31.0	49.0
20	宮本	7190	材木座	2 3	29.0	1 7	23.0	52.0
21	井沢	10841	逗子	1 9	25.0	2 2	28.0	53.0
22	杉本	10883	逗子	DNS	39.0	1 1	17.0	56.0
23	藤森	9544	材木座	2 0	26.0	2 4	30.0	56.0
24	山県	1839	材木座	DNS	39.0	1 2	18.0	57.0
25	井田	10747	逗子	DNS	39.0	1 5	21.0	60.0
26	常盤	10741	逗子	1 5	21.0	RET	39.0	60.0
27	近藤	10048	材木座	PMS	39.0	1 6	22.0	61.0
28	松田	10346	材木座	2 2	28.0	2 8	34.0	62.0
29	芹田	10725	葉山	2 1	27.0	2 9	35.0	62.0
30	小泉	10336	逗子	2 4	30.0	3 1	37.0	67.0
31	峰岸	5126	材木座	PMS	39.0	2 6	32.0	71.0
32	上田	9272	材木座	PMS	39.0	3 0	36.0	75.0
17	杉浦	9821	材木座	COM		COM		
	南斎	11111	葉山	COM		COM		
	田代		材木座	COM		COM		

(トップ艇所用時間 1 R : 57分. 2 R : 51分)
☆杉浦選手. 運営担当 2 回目のため参加レース
平均順位を得点とする。

'88 湘南チャンピオンサーキット ベスト 20

順位	氏名	No.	FL	第1戦 順位	2 戦	3 戦	第4戦 順位	第5戦 順位	6 戦	第7戦 順位	8 戦	第9戦 順位	総得点 1R CUT
1	設楽	1781	材	(9)			4	1		3		2	16.7
2	橋本	10757	材	6			(10)	COM		1		1	17.4
3	手代木	10608	材	1	ノ	ノ	3	2	ノ	5	ノ	(16)	18.7
4	山下	9756	材	2	ノ	ノ	2	3	ノ	4	ノ	(6)	19.7
5	武田	10722	材	COM	レ	レ	6	6	レ	(DNC)	レ	7	42.1
6	岡崎	3782	逗	4	ノ	ノ	8	10	ノ	7	ノ	(14)	51.0
7	柴田	10423	葉	5	ス	ス	7	7	ス	13	ス	(DNC)	55.0
8	井上	8633	材	DNC			1	4		COM		(DNC)	58.7
9	大倉	5437	逗	(DNC)			14	9		15		8	70.0
10	東道	8145	葉	28			18	(DNC)		2		5	71.0

11. 奥野	10116	葉	72.0	12. 村岡	10397	逗	80.7
13. 柳橋	10870	葉	81.0	14. 近藤	10048	材	87.7
15. 杉浦	9821	材	89.7	16. 鈴木	10531	葉	91.0
17. 西	10857	材	100.0	18. 大橋	10132	葉	102.0
19. 松田	10346	材	105.7	20. 常盤	10741	逗	106.0

COM : 3 位の得点

DNC : 各戦の最下位得点プラス10点

【総エントリー 63 名】

【会計報告】

(収 入)

第1戦	エントリーフィ	43,500
第4戦	エントリーフィ	52,500
第5戦	エントリーフィ	15,500
第7戦	エントリーフィ	16,500
第9戦	エントリーフィ	16,000
パーティ会費		261,000
二次会費あまり		2,500
		¥407,500

(支 出)

第1戦	運営船ガソリン.海岸パーティ	24,270
第4戦	運営船ガソリン.海岸パーティ	28,986
第5戦	運営船ガソリン	6,450
第7戦	運営船ガソリン	3,540
第9戦	運営船ガソリン	1,760
運営船予備燃料タンク		10,800
パーティ経費		278,625
		¥354,431

差引 ¥53,069

【合同フリートパーティ経費詳細】

案内状製作・郵送代	5,730
パーティ券製作	2,600
会場・飲食費	210,000
賞品	41,680
参加賞(Tシャツ)追加分	14,800
雑費	3,815
	¥278,625

湘南合同レース委員会
会計 池田 正弘

合同フリーストパーティ

12月11日、年末恒例となった材木座、葉山、逗子F合同パーティを横浜・海岸通り「メディテラニアン」にて開催しました。

参加者は、予想を大幅に上まわる61名(材34、葉14、逗12、協会1)となり、サーキット総合表彰式、メンバー紹介、各種ゲーム等、本年最終行事を楽しみました。

☆賞品協力は、瀬海王・百丹ヨットクラブ・日本市街地開発協、カップ、盾はヤマハ東京協の協力でした。

☆参加賞(Tシャツ)は協会からの援助金による。

【幹事】

司会	杉浦 衡	進行構成	峰岸 美一
受付	井上 信勝	近藤 和也	
会計	池田 正弘	会場手配	南斎 稔
賞品手配	橋本 重一		

Race Schedule

1月8日	材木座フリーストレース (材木座)
1月22日	ミッドウインターカップ (浜名湖)
2月5日	材木座フリーストレース (材木座)
2月26日	伊東オープンレース (伊東)

レース経験から学ぶ(3)

text by Steve Benjamin

【リーチング】

ここでも、グループを避けるタクティクスが最も重要になる。次のようなコンディションの時にはフリーストの風上側のコースをとるようにすればいい。

1. コースが上寄りにセッティングされており、上り気味のリーチングとなる時。
 2. 海流によってフリーストが風下側に流される時。
 3. 上でパフまたは風がもっと得られる時。
 4. 自艇の後ろの何艇かが上に行こうとしている時。
- 上のコースを選ぶなら、レグの後半でラムラインに戻ることが必要になる。ラムラインの上側にとどまってしまうという間違いを犯したため、リーチングの終わりになって、まっすぐダウンウインドに向きを変えてマークに向かわなければならなくなる艇が余りにも多い。

グループの風下側のコースを走る方法はより危険だが、正しい状況で使えば大きな利益にもなる。リーチングで風下側を走るのは、次の場合に効果的だ。

1. コースがブロードリーチになっている時。
2. 海流によってフリーストが風上側に流されている時。
3. リフト(上れる風)が予測される時。
4. 自艇の前の何艇かが風上に行こうとしている時。

【注意】

後続の何艇かが、私たちがクリーンエアーに逃げ切る前に私たちの風をとらえそうな場合にはリーチングで風下側に向かうことは避ける。ブランケットに入らずに下に行けるチャンスをつかむまで、がまんして待った方がよい。さもなければ、最初のロスが、その後で得られるかもしれない利益を上回ってしまうのは、はっきりしている。

ジャイブマーク、または風下マークに近づいたら、インサイドのオーバーラップの大切さをしっかり頭に入れておく。スターボードでジャイブマークに近づくのには交換条件がある。フリーストの風下側にいればインサイドに入れるが、ブランケットに入る危険をとらえながら。一番勧められるのは、クリーンエアーを危険にさらすことなく、できるだけ風下側にいることだろう。

風下マークへのアプローチは、風下側にいてもインサイドに入れるので、これに比べると簡単だ。ただ、ラフィングマッチなどにまき込まれないようにして、風下側からスライドして入っていく方がいい。

『レベルアップ』

No.9756 山下 健

材木座フリーストの山下です。

私が今年経験した大きなレースに、北海道の江差で開催されたゴールドカップ88がありました。関東からは、10名程のエントリー(総エントリー40名)があり、風も順風で風の振れも差ほどなく、艇速のある艇が上位集団を形成していました。その中でもグンを抜いて九州の元オリンピック選手の松山、関西の松下、両選手の艇速には目をみはるものがありました。

全日本から帰った橋本選手も、あれだけ違う艇速の差は関東と関西のレベルの違いを感じると、とても焦っておられました。

そこで、江差と一緒に参加した葉山フリーストの東道、大橋選手が聴いた松下選手の講義を基に艇速の違いを私なりに分析してみました。参考までに。

1. 風に対するセイルのセッティングが適格。
2. ブローに対するセイルカーブを随時変化させている。(あるいはできる。)
3. 一瞬の艇速は変わらないが、風の息が生じた時に他艇と比べて艇速が落ちない。あるいは増す。
4. 無駄なコース、タックをしない。
5. 艇は、絶えずキープフラット。
6. 風の振れに合わせて帆走。
7. 競り合っている近くの艇には絶対に負けない。

以上の様にいろいろな要因が挙げられると思うが皆で協力し、レベルアップを図っていききたい。よろしくお願いします。

『逗子F代表連絡係決意表明』

No.5437 逗子F 大倉由喜路

いつもお世話になっております。湘南チャンピオンサーキットの落ちこぼれ逗子Fから前回に続き2人目の登場です。

何だか訳のわからないうちに、「作文しましょ」のコーナーに登場となってしまいました。自分自身、シングルハンドディンギーについて、まだまだわからない点が多い中で頑張って書いてみたいと思います。

CFのコピーですが、「人は人生に3度スポーツと出会う」と言います。私は、これまで28年間生きてきましたが、2度長く続けることが出来るスポーツに出会っています。第1は、テニス。第2は、水泳でそれ成りに現在もコンスタントに続けることが出来ています。そこで次に来るのが何なのかということに成ります。

現時点、それはシングルハンドディンギーということに成ります。この先どう成るか全く予想はつきませんが、今の仕事が、完全週休2日であり、更に、奥さんの理解も得ることが出来、月平均6回程度はクラブに来て出艇したり、艇の手入れをすることが出来ています。

現在、所属しているセイリングスポットは収容艇数がとても多く、毎週末には、常連組から年数回組まで沢山のクラブ員がやってきます。他のスポットやクラブの様に家庭的雰囲気を作り出すという点では難しい面はありますが、それでも、海に来る度毎に新しい仲間が出来、とても待ち遠しく週末を向かえ、楽しくすごすことが出来ています。

まだ、ディンギー(マリンスポーツ)を始めて2年足らずで、先輩諸氏には生意気ではありますが、来年は逗子フリーストの代表連絡係として、材木座・葉山各フリーストに一步でも近づけることが出来る様に、当フリーストのレベルを上げる為、最大限の工夫と努力を致しますので逗子フリーストのメンバーは一緒になって頑張らしましょう。また、材木座・葉山両フリーストに於かれましては宜敷く御指導願います。

おわりに、今回は自分の為に貴重な紙面を頂きありがとうございました。起承転結のない文章の上に、盛り上りに欠ける文章となってしまったことをお詫びします。